

工 事 設 計 書									
年 度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	第3次整備事業費	
工 事 番 号	04-1102							設 計 年 月 日	令和4年6月13日
着 工 番 号								精 算 年 月 日	令和4年6月13日
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市鳥羽ほか地内					施工方法及び 工 事 期 限		<input type="checkbox"/> 請 負 単価契約 令和5年6月30日まで	
工 事 名 称	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)					支払い方法		前 払 金	あり(40%以内)
								中 間 前 払 金	あり(20%以内)
								部 分 払	あり(3回以内)
工 事 概 要	連絡管布設工計 L=1,153.1m								
	連絡管布設工 φ400 L=1,153.1m								
	鋼製さや管推進工 L=14.0m								
	バタフライ弁設置工 φ400 2基								
	空気弁設置工 φ75 2基								
	舗装復旧工 1式								
当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円		
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円		
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円		

総括情報表

単価適用年月日	0-04.06.01(0)		
工種区分 施工地域区分	今 回 01 開削工事及び小口推進工事 23 一般交通影響あり(2)	前 回	

工事費内訳書

頁0-0002/0118

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
管路							
管路 (φ400) 開削							
管布設工 (φ400)							
		1		式			工種 第0001号明細表
管布設土工							
		1		式			工種 第0004号明細表
管きょ工 (推進)							
鋼管さや管ホーリング (一重ケーシング) 推進工							
		1		式			工種 第0006号明細表
補助地盤改良工							
		1		式			工種 第0012号明細表
発進立坑 φ3000							
		1		式			工種 第0014号明細表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0118

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
到達立坑 φ2000	1	式			工種 第0026号明細表
付帯工					
既設管撤去工	1	式			工種 第0038号明細表
舗装復旧工	1	式			工種 第0041号明細表
区画線工	1	式			工種 第0047号明細表
交通管理工	1	式			工種 第0049号明細表
交通管理工	1	式			工種 第0049号明細表
直接工事費計					
共通仮設費計					

工事費内訳書

頁0-0004/0118

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	運搬費						
	重建設機械分解組立輸送費			式			
		1		式			工種 第0051号明細表
	仮設材運搬費						
		1		式			工種 第0052号明細表
	準備費						
	試掘調査工			式			
		1		式			工種 第0053号明細表
	ボーリング調査工						
		1		式			工種 第0054号明細表
	技術管理費						
				式			
	通水試験費						
		1		式			工種 第0055号明細表
	共通仮設費率分						
				式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0005/0118

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費計						
現場管理費						
工事原価計			式			
一般管理費等						
スクラップ控除			式			
スクラップ控除			式			
工事価格計		1	式			工種 第0056号明細表
消費税相当額						
総 計			式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ400×6000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	155	本			
DGX-1 直管 φ400×6000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	34	本			
DGX 曲管 φ400×90° ロックリング含 内面球形粉体塗装	5	個			
DGX 曲管 φ400×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	28	個			
DGX 曲管 φ400×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	14	個			
DGX 曲管 φ400×11° 1/4 ロックリング含 内面球形粉体塗装	4	個			
DGX 曲管 φ400×5° 5/8 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			
DGX 両受曲管 φ400×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	20	個			
DGX 両受曲管 φ400×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	9	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX フランジ付きT字管 φ400×75 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	2	個			
DGX 継ぎ輪 φ400 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	4	個			
GX形継ぎ輪用特殊押輪	4	個			
DGX 両受短管 φ400 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	7	個			
GX形バタフライ弁 φ400 ロックリング含 内面珪酸樹脂粉体塗装	2	基			
バタフライ弁ボックス(円形3号)(H=1040) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0005号内訳表
バタフライ弁ボックス(円形3号)(H=1140) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0006号内訳表
カムレバーロック式急速空気弁 φ75 フランジ一体型 0.75MPa、FCD 内外面珪酸粉体塗装	2	基			
ケレップ式単口消火栓(浅埋形) φ75×65 JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa FCD 内外面珪酸粉体塗装	1	基			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
フランジ短管 φ75×150 0.75MPa 内面エポキシ粉体塗装	4	個			
フランジ短管 φ75×400 0.75MPa 内面エポキシ粉体塗装	2	個			
補修弁 (キャップ式) φ75×100 JWWA B 126, 0.75MPa FCD 内外面エポキシ粉体塗装	3	基			
フランジ継手材 (RF形) φ75 ボルト・ナット (SUS製) 及びRF形カスケット 防食タイプ	4	組			
フランジ接合補強具 (LSP形) φ75 7.5K LSPパッキン ボルト・ナット (SUS304製) 緩み防止仕様	8	組			
空気弁ボックス (円形3号) (H=840) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0007号内訳表
空気弁ボックス (円形3号) (H=1040) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0008号内訳表
消火栓ボックス (円形3号) (H=1040) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0009号内訳表
GX形接合セット φ400 異形管・V用	134	組			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
GX形ライク φ400 ライクボード含	51	組			
GX形挿しロリング φ400 ライクボード含	87	組			
DK 受挿し片落管 φ700×400 JIS G 5527, 5528, JWWA G 112, 114 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
DK フランジ付きT字管 φ400×75 JIS G 5527, 5528, JWWA G 112, 114 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
DK 継ぎ輪 φ400 JIS G 5527, 5528, JWWA G 112, 114 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
DK 帽 φ400 特殊押輪, 接合材含む 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
DK 特殊押輪(3DkN以上) φ400 接合材含む	3	組			
DK 特殊押輪(3DkN以上) φ700 接合材含む	1	組			
K形用特殊割押輪 φ700 長ボルト・ダブルナット	4	組			

手間 (φ400)

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0012/0118

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鑄鉄管吊込み据付 (機械力) 呼び径 400mm	1,137.0	m			
鑄鉄管(新設管)切断工(エンジンカッター) ガタイル鑄鉄管 呼び径400mm	2	口			
鑄鉄管切断・溝切り加工(同時) 呼び径400mm、GX形継手	74	口			
鑄鉄管(新設管)溝切り加工 ガタイル鑄鉄管 呼び径400mm	13	口			
GX継手挿口加工 (呼び径 400mm) タッピンねじ式	87	口			
ハタフライ弁(鑄鉄製)設置(機械力) 縦型ハタフライ弁 呼び径 400mm	2	基			
円形3号ボックス設置工(H=1040) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
円形3号ボックス設置工(H=1140) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
空気弁 設置 呼び径 75mm 機械施工	2	基			

手間 (φ400)

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0013/0118

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工 フランジ 接合1口含む	1	箇所			
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) JWWA 7.5K	11	口			
円形3号ボックス設置工(H=840) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
円形3号ボックス設置工(H=1040) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
円形3号ボックス設置工(H=1040) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
G X継手接合(呼び径 400mm) 直管	189	口			
G X継手接合(呼び径 400mm) 異形管	134	口			
メカニカル継手 接合(呼び径 400mm) 継手: K形 特殊押輪補正あり	4	口			
メカニカル継手 接合(呼び径 700mm) 継手: K形 特殊押輪補正あり	1	口			

手間 (φ400)

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0014/0118

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
メカニカル継手 接合(呼び径 700mm) 継手: K形 特殊押輪補正あり	4	口			
鋳鉄管挿入工 φ400	15.1	m			
;工法協会見積 推力伝達リング取付工 φ400mm	6	箇所			施工 第0-0014号内訳表
管明示シート工	1,153.1	m			
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 400mm)	1,153.1	m			
管明示テープ工 (鋳鉄管布設工) 呼び径400mm×6000mm	1,153.1	m			
合 計	1	式			

土工 (φ400)

工種明細表

工種 第0005号明細表

頁0-0016/0118

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	2,280	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	1,140	m2			
掘削積込工	2,200	m3			
掘削積込工(補助的作業なし)	9	m3			施工 第0-0001号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	9	m3			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材(株)〕 運搬距離 L=16.4km	73	m3			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材(株)〕 運搬距離 L=16.2km	2,200	m3			施工 第0-0004号内訳表
仮復旧工〔密粒度〔再〕(13)〕 厚 5cm	1,140	m2			施工 第0-0002号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅: 1.8m 未満 仕上り厚10cm	822	m2			

土工 (φ400)

工種明細表

工種 第0005号明細表

頁0-0017/0118

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚15cm	315	m2			
埋戻工(埋戻し材->再生切込碎石)	1,200	m3			
埋戻工(埋戻し材->スクリーニングス)	680	m3			
軽量鋼矢板建込引抜工(両側分)	4.0	m			
土留支保工(設置+撤去) 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ サ ^ホ ト	4.0	m			
鋼矢板支保工賃料(軽量鋼矢板3.0m用)	4.0	m			
鋼矢板賃料		t			
鋼矢板整備費		t			
鋼矢板建込引抜工(両側分)	369.5	m			

土工(φ400)

工種明細表

工種 第0005号明細表

頁0-0018/0118

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
アルミ矢板建込引抜工(両側分)	693.5	m			
アルミ矢板建込引抜工(両側分)	58.1	m			
アルミ矢板建込引抜工(両側分)	8.1	m			
土留支保工(設置+撤去) 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ サ ^ト	369.5	m			
土留支保工(設置+撤去) 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ サ ^ト	759.7	m			
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板2.0m用)	369.5	m			
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板2.5m用) 2段	693.5	m			
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板3.0m用)	58.1	m			
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板3.5m用)	8.1	m			

鋼管さや管ボリソグ (一重ケソグ) 推進工

工種明細表

工種 第0006号明細表

頁0-0020/0118

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
推進用鋼管	(1)	式			工種 第0007号明細表
発生土処理	(1)	式			工種 第0008号明細表
中込め	(1)	式			工種 第0009号明細表
仮設備工	(1)	式			工種 第0010号明細表
推進用水替工	(1)	式			工種 第0011号明細表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ運転工（推進水替） 作業時排水		日			施工 第0-0022号内訳表
合 計	1	式			

発進立坑

φ3000

工種明細表

工種 第0014号明細表

頁0-0028/0118

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
発進立坑掘削	(1)	式			工種 第0015号明細表
発進立坑埋戻	(1)	式			工種 第0016号明細表
発生土処理	(1)	式			工種 第0017号明細表
鋼製ケーシング圧入掘削	(1)	式			工種 第0018号明細表
底盤コンクリート	(1)	式			工種 第0019号明細表
圧入掘削設備	(1)	式			工種 第0020号明細表
鋼製ケーシング存置	(1)	式			工種 第0021号明細表
仮設ケーシング損料	(1)	式			工種 第0022号明細表
立坑排水	(1)	式			工種 第0023号明細表

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻工 (埋戻し材→再生切込碎石)	40	m3			
埋戻工 (埋戻し材→スクリーンダスト)	1	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	3	m3			
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	8	m2			
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 以上 仕上り厚15cm	7	m2			
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	7	m2			施工 第0-0002号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
圧入掘削積込み工 φ3000mm 粘性土N≤5	1.0	m			施工 第0-0024号内訳表
圧入掘削積込み工 φ3000mm 砂質土N≤30	4.1	m			施工 第0-0025号内訳表
圧入掘削積込み工 φ3000mm 砂質土30<N≤50	1.8	m			施工 第0-0026号内訳表
圧入掘削積込み工 φ3000mm 礫質土N≤30	1.2	m			施工 第0-0027号内訳表
ケーシング溶接工 φ3000mm	3	箇所			施工 第0-0028号内訳表
ケーシング引上げ工 φ3000mm	1.2	m			施工 第0-0029号内訳表
ケーシング撤去工 φ3000mm	1	箇所			施工 第0-0030号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
円形覆工板設置工 φ3000	1	箇所			施工 第0-0033号内訳表
円形覆工板撤去工 φ3000	1	箇所			施工 第0-0034号内訳表
円形覆工板設開閉工 φ3000		回			施工 第0-0035号内訳表
路面すりつけ工 φ3000	9.6	m			施工 第0-0036号内訳表
円形覆板賃料 φ3000mm T-25	1	枚			
円形覆工板整備費 φ3000 T-25	1	枚			
合 計	1	式			

到達立坑

φ2000

工種明細表

工種 第0026号明細表

頁0-0041/0118

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
到達立坑掘削	(1)	式			工種 第0027号明細表
到達立坑埋戻	(1)	式			工種 第0028号明細表
発生土処理	(1)	式			工種 第0029号明細表
鋼製ケーシング圧入掘削	(1)	式			工種 第0030号明細表
底盤コンクリート	(1)	式			工種 第0031号明細表
圧入掘削設備	(1)	式			工種 第0032号明細表
鋼製ケーシング存置	(1)	式			工種 第0033号明細表
仮設ケーシング損料	(1)	式			工種 第0034号明細表
立坑排水	(1)	式			工種 第0035号明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻工 (埋戻し材->再生切込碎石)	17	m3			
埋戻工 (埋戻し材->スクリーンダスト)	0.5	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	2	m3			
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	6	m2			
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 以上 仕上り厚15cm	3	m2			
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	3	m2			施工 第0-0002号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
圧入掘削積込み工 φ2000mm 粘性土N≤5	1.0	m			施工 第0-0037号内訳表
圧入掘削積込み工 φ2000mm 砂質土N≤30	4.4	m			施工 第0-0038号内訳表
圧入掘削積込み工 φ2000mm 砂質30<土N≤50	1.8	m			施工 第0-0039号内訳表
圧入掘削積込み工 φ2000mm 礫質土N≤30	0.5	m			施工 第0-0040号内訳表
ケーシング溶接工 ケーシング呼び径 φ2000	3	箇所			
ケーシング引上げ工 φ2000mm	0.9	m			施工 第0-0041号内訳表
ケーシング撤去工 ケーシング呼び径 φ2000mm	1	箇所			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
円形覆工板設置・撤去工 ケーシング呼び径 φ2000mm	1	箇所			
円形覆工板開閉工 ケーシング呼び径 φ2000mm		回			
路面すりつけ工 φ2000	6.4	m			施工 第0-0044号内訳表
円形覆板賃料 φ2000mm T-25	1	枚			
円形覆工板整備費 φ2000 T-25	1	枚			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
名称・規格 鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径 400mm	28.0	m			
名称・規格 鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径 700mm	5.0	m			
名称・規格 鋳鉄管（既設管）撤去切断工（エンジンカッター） タイル鋳鉄管 呼び径75mm	11	口			
名称・規格 鋳鉄管（既設管）撤去切断工（ハイ切削切断機） タイル鋳鉄管 呼び径700mm	2	口			
名称・規格 消火栓（地下式 単口）撤去工 機械施工 フランジ 接合1口含む	1	箇所			
名称・規格 円形3号ボックス撤去工 鉄蓋撤去含む	1	箇所			
名称・規格 現場発生品・支給品運搬 スクラップ	4	回			
名称・規格 現場発生品・支給品運搬 廃プラスチック類	1	回			
名称・規格 処分費（廃プラスチック類）	0.1	t			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	56	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	15	m ²			
掘削積込工	19	m ³			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材(株)〕 運搬距離 L=16.4km	0.8	m ³			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材(株)〕 運搬距離 L=16.2km	19	m ³			施工 第0-0004号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	15	m ²			施工 第0-0002号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅: 1.8m 未満 仕上り厚10cm	15	m ²			
埋戻工(埋戻し材→再生切込碎石)	18	m ³			
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
市道車道アスファルト2層	(1)	式			工種 第0042号明細表
市道車道アスファルト2層 (実掘部) 切削オーバーレイ施工箇所	(1)	式			工種 第0043号明細表
市道車道アスファルト2層 切削オーバーレイ	(1)	式			工種 第0044号明細表
市道車道アスファルト1層	(1)	式			工種 第0045号明細表
市道歩道アスファルト1層	(1)	式			工種 第0046号明細表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	82	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	191	m ²			
掘削積込工	3	m ³			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材(株)〕 運搬距離 L=16.4km	16	m ³			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材(株)〕 運搬距離 L=16.2km	3	m ³			施工 第0-0004号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	191	m ²			
基層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再] (20)	191	m ²			
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再] (13)	191	m ²			
合計	1	式			

市道車道アスファルト2層 (実掘部)

工種明細表

頁0-0060/0118

切削オーバーレイ施工箇所

工種 第0043号明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	257	m2			
掘削積込工	13	m3			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材(株)〕 運搬距離 L=16.4km	13	m3			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材(株)〕 運搬距離 L=16.2km	13	m3			施工 第0-0004号内訳表
不陸整正工(補足材なし) 施工幅：1.8m 未満	257	m2			
基層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再] (20)	257	m2			
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再] (13)	257	m2			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	770	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	2,400	m ²			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材(株)〕 運搬距離 L=16.4km	120	m ³			施工 第0-0003号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	2,400	m ²			
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	2,400	m ²			
歩車道境界ブロック撤去 撤去後→再利用	5	m			
歩車道境界ブロック再利用設置 標準部 A型 基礎碎石:有り(再生碎石 RC-40) 基礎コン:有	5	m			
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	5	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	45	m ²			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材(株)〕 運搬距離 L=16.4km	2	m ³			施工 第0-0003号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	45	m ²			
表層(歩道部) t = 50mm 細粒度アスコン[再](13)	45	m ²			
合 計	1	式			

区画線工 (一般舗装部)

工種明細表

工種 第0048号明細表

頁0-0065/0118

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置 [熔融式] 実線 15cm t=1.5mm	410	m			
区画線設置 [熔融式] 破線 15cm t=1.5mm	90	m			
区画線設置 [熔融式] 実線 30cm t=1.5mm	49	m			
区画線設置 [熔融式] 実線 45cm t=1.5mm	99	m			
区画線設置 [熔融式] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	95	m			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等の運搬（搬入） 製品長->12m以内		t			
仮設材等の運搬（搬出） 製品長->12m以内		t			
仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し(片道分)〕		t			
仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し(片道分)〕		t			
合 計	1	式			

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6.0	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	2.0	m2			
掘削積込工(補助的作業なし)	1.9	m3			施工 第0-0001号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	1.0	m3			
埋戻工(埋戻し材→スクリーニングス)	1.0	m3			
埋戻工(埋戻し材→再生切込砕石)	1.7	m3			
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	2.0	m2			
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	2.0	m2			施工 第0-0002号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材(株)〕 運搬距離 L=16.4km	0.1	m3			施工 第0-0003号内訳表

施工単価表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0076/0118

掘削積込工(補助的作業なし)

[規格1]	[規格2]	[摘要]			
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
バックホ運転		時間			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			

施工単価表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0077/0118

仮復旧工 [密粒度[再](13)]

[規格1]厚 5cm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13		t			
振動ローリ運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
諸雑費		%			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0080/0118

ハタフライ弁ボックス(円形3号) (H=1040)

[規格1] 鉄蓋及び無収縮モルタル含む

[規格2]

[摘要]

1 組 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ハタフライ弁鉄蓋(円形3号) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
ボルト・ナットM16×150 3セット	1	個			
無収縮モルタル(25kg)	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 中部壁H=200	2	個			
円形3号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形3号BOX 底版H=40	1	個			
単 位 当 り	1	組			

施工単価表

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0081/0118

ハタフライ弁ボックス(円形3号)(H=1140)

[規格1]鉄蓋及び無収縮モルタル含む

[規格2]

[摘要]

1 組 当り

名称・規格	数	量	単位	単価	金額	備考
ハタフライ弁鉄蓋(円形3号) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1		個			
ボルト・ナットM16×150 3セット	1		個			
無収縮モルタル(25kg)	1		個			
円形3号BOX 上部壁H=200	1		個			
円形3号BOX 中部壁H=200	1		個			
円形3号BOX 中部壁H=300	1		個			
円形3号BOX 下部壁H=300	1		個			
円形3号BOX 底版H=40	1		個			
単 位 当 り	1		組			

施工単価表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0082/0118

空気弁ボックス(円形3号)(H=840)

[規格1]鉄蓋及び無収縮モルタル含む

[規格2]

[摘要]

1 組 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
空気弁鉄蓋(円形3号) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
ボルト・ナットM16×150 3セット	1	個			
無収縮モルタル(25kg)	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 中部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形3号BOX 底版H=40	1	個			
単 位 当 り	1	組			

施工単価表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0083/0118

空気弁ボックス(円形3号)(H=1040)

[規格1]鉄蓋及び無収縮モルタル含む

[規格2]

[摘要]

1

組 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
空気弁鉄蓋(円形3号) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
ボルト・ナットM16×150 3セット	1	個			
無収縮モルタル(25kg)	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 中部壁H=200	2	個			
円形3号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形3号BOX 底版H=40	1	個			
単 位 当 り	1	組			

施工単価表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0084/0118

消火栓ボックス(円形3号) (H=1040)

[規格1] 鉄蓋及び無収縮モルタル含む

[規格2]

[摘要]

1 組 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
消火栓鉄蓋(円形3号) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
ボルト・ナットM16×150 3セット	1	個			
無収縮モルタル(25kg)	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 中部壁H=200	2	個			
円形3号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形3号BOX 底版H=40	1	個			
単 位 当 り	1	組			

施工単価表

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0089/0118

中込め注入工

[規格1]	[規格2]	[摘要]	1	m3	当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
注入材	3	m3			
発動発電機		日			
グラウトポンプ		日			
グラウトミキサ		日			
全体割増					
単位当り	1	m3			

施工単価表

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0090/0118

機械据付・撤去工

[規格1]	[規格2]	[摘要]				1 回 当り
名称・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
溶接工		人				
普通作業員		人				
溶接棒 軟鋼用 径5.0mm	2.5	kg				
酸素	4	m3				
アセチレン	1	kg				
発動発電機		日				
トラック(クレーン装置付)		日				
溶接機損料		日				
単 位 当 り	1	回				

特記仕様書
(令和4年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																									
1	<p>一般共通事項</p> <p>※ 1 現場代理人の兼務 ※ 1 本合併工事については、本合併工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。</p> <p>※ 2 合併工事 ※ 1 本工事は、他部署との合併工事はない。</p> <p>※ 3 近接工事 ※ 1 発注時に、確認している近接工事は無いが、近接工事が確認された場合は、関連他業者との連絡を密にし、互いの工事の影響が少ないように工程管理すること。</p> <p>※ 4 占用関係</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">1 国道()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 20px;">2 県道()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">③ 市道()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 20px;">4 法定外道路()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">5 港湾()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 20px;">6 河川()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">⑦ その他(西明石緑道)</td> <td style="border-left: 1px solid black;"></td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を提出すること。</p> <p>※ 5 協議関係(上記占用以外)</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">1 鉄道等()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">② バス道等(たこバス)</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">③ 学校関係(鳥羽小学校・沢池小学校・野々池中学校・明石南高校)</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">④ その他(鳥羽浄水場)</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。</p> <p>※ 6 工事の範囲 ※ 1 当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。</p> <p>※ 7 交通誘導警備員 ※ 1 交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; width: 300px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">種類</th> <th style="width: 30%;">合計</th> <th style="width: 30%;">連絡管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">0名</td> <td style="text-align: center;">0名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">800名</td> <td style="text-align: center;">800名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">800名</td> <td style="text-align: center;">800名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">※ 1日1現場当り4名(標準) ※ 1日1現場当りT字交差点部 5名 ※ 1日1現場当り十字交差点部6名 その他1日1現場当り追加 1名(バス停)</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議すること。 なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。 交通誘導警備員A;警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員を言う。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条</p>	1 国道()	2 県道()	③ 市道()	4 法定外道路()	5 港湾()	6 河川()	⑦ その他(西明石緑道)		1 鉄道等()	② バス道等(たこバス)	③ 学校関係(鳥羽小学校・沢池小学校・野々池中学校・明石南高校)	④ その他(鳥羽浄水場)	種類	合計	連絡管	A	0名	0名	B	800名	800名	合計	800名	800名
1 国道()	2 県道()																								
③ 市道()	4 法定外道路()																								
5 港湾()	6 河川()																								
⑦ その他(西明石緑道)																									
1 鉄道等()																									
② バス道等(たこバス)																									
③ 学校関係(鳥羽小学校・沢池小学校・野々池中学校・明石南高校)																									
④ その他(鳥羽浄水場)																									
種類	合計	連絡管																							
A	0名	0名																							
B	800名	800名																							
合計	800名	800名																							

特記仕様書
(令和4年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員 交通誘導警備員B;警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの</p> <p>※ 8 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。</p> <p>※ 9 その他事項</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書及び工事設計書のことをいう。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 2 工期については、契約締結日の翌日から令和5年6月30日までとしている。 工期延期については、原則認めていないので、受注者は工期末までに竣工書類を監督員に提出すること。正当な理由により、やむを得ず工期までに完了しない場合は、監督員と協議すること。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 3 当該工事設計書は令和3年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 4 間接工事費等の算定における管材費には、従来の材料に加えて仮配管も含めている。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 5 本工事の内容については、設計書・数量計算書・設計図面のうち、設計書を優先する。</p>

章	
2	<p>管きょ工</p> <p>※ 1 使用材料</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 使用材料確認願(様式29-1)には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図(承認図)(不断水バルブ、割T字管(付属バルブ)、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、サドル分水栓、その他監督員が必要と認める材料)とする。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 2 土木工事承諾願(様式30-1)には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図(承認図)またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 3 水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 4 在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。また、立会願を提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p>※ 2 一体化長さ</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 設計水圧0.75Mpa、摩擦係数0.3で設計している。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 2 上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。</p>

特記仕様書
(令和4年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>※ 3 管の据付</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 管路の高さを調整する場合は、スクリーニングス等を詰めた土嚢を使用すること。</p> <p>※ 4 消火栓・空気弁</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90° の位置に設置すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 消火栓及び空気弁の口の高さは、GL-20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 3 フランジ部で使用するボルトは75mm以上のSUS製とすること。 また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。</p> <p>※ 5 水圧試験</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 標準仕様書5.10(1)について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0%以内を許容限度とする。 ・材質は铸铁管 ・口径は300mm以下 ・試験延長合計は100m未満</p> <p>※ 6 現場発生品の処分</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 既設铸铁管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出すること また、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地は(株)アイメタルで運搬距離は3.5kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。 その場合は、設計変更の対象としない。</p> <p style="padding-left: 20px;">2 既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」(平成17年8月、厚生労働省健康局水道課)を参考として作業を行うこと。 その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 3 既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分すること。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター(播磨事業所)、運搬距離 12.5km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。 ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。</p> <p>※ 7 スクラップの種類</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 撤去铸铁管関係については、故銑Bで計上している。</p> <p>8 その他事項</p> <p style="padding-left: 20px;">1 本工事における仮配水管の供用日数について、 ~ 日までとして計上している。</p>

章	
3	<p>土工事</p> <p>※ 1 重機</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 特殊車両(一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両)を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。</p> <p>※ 2 アスファルト切断</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。</p>

特記仕様書
(令和4年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																																																																																																																																																													
	<p>※ 3 配水管布設時の掘削幅</p> <p>※ 1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>口径</td> <td>φ 75</td> <td>φ 100</td> <td>φ 150</td> <td>φ 200</td> <td>φ 250</td> <td>φ 300</td> <td>φ 350</td> <td>φ 400</td> <td>φ 450</td> </tr> <tr> <td>GX形</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>650</td> <td>700</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>NS形</td> <td>600</td> <td>650</td> <td>700</td> <td>750</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>K形</td> <td>600</td> <td>650</td> <td>700</td> <td>750</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> </tr> </table> <p>※ 2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>口径</td> <td>φ 75</td> <td>φ 100</td> <td>φ 150</td> <td>φ 200</td> <td>φ 250</td> <td>φ 300</td> <td>φ 350</td> <td>φ 400</td> <td>φ 450</td> </tr> <tr> <td>GX形</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>950</td> <td>1000</td> <td>1050</td> </tr> <tr> <td>NS形</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> <td>1050</td> </tr> <tr> <td>K形</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> <td>1050</td> </tr> </table> <p>※ 4 配水管布設時の掘削深</p> <p>※ 1 配水管布設時の掘削深は、土被り+布設管外径(D2)+100を基本とする。</p> <p>※ 2 既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100mm程度上げた状態で管を布設することを基本とする。ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。</p> <p>※ 3 会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。</p> <p>※ 4 会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ 350mm以下の場合、延長500mm、深さ200mm、φ 400mm以上の場合、延長800mm、深さ500mmとし、幅はそれぞれの掘削幅とする。</p> <p>5 仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深</p> <p>1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>口径</td> <td>φ 100以下</td> <td>φ 150</td> <td>φ 200</td> <td>φ 250</td> <td>φ 300</td> <td>φ 400</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>400</td> <td>450</td> <td>500</td> <td>550</td> <td>600</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>深さ</td> <td>400</td> <td>450</td> <td>500</td> <td>550</td> <td>600</td> <td>800</td> </tr> </table> <p>2 矢板有の場合の掘削幅、単位はmm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>口径</td> <td>φ 100以下</td> <td>φ 150</td> <td>φ 200</td> <td>φ 250</td> <td>φ 300</td> <td>φ 400</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>700</td> <td>750</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>900</td> <td>1000</td> </tr> </table> <p>3 仮給水管設置撤去時の掘削幅は400mm、掘削深は300mmとすること。</p> <p>4 国道250号に布設撤去する場合は深さ600mm以上とすること。</p> <p>※ 6 既設管撤去の掘削幅</p> <p>※ 1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>口径</td> <td>φ 75~150</td> <td>φ 200</td> <td>φ 250</td> <td>φ 300</td> <td>φ 350</td> <td>φ 400</td> <td>φ 450</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>650</td> <td>700</td> <td>900</td> <td>950</td> <td>1000</td> </tr> </table> <p>※ 2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>口径</td> <td>φ 75~150</td> <td>φ 200</td> <td>φ 250</td> <td>φ 300</td> <td>φ 350</td> <td>φ 400</td> <td>φ 450</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>1000</td> <td>1050</td> <td>1100</td> </tr> </table> <p>7 給水管の掘削幅、掘削深、延長</p> <p>1 分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600mm、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600mm、深さは既設管土被り+既設管呼び径+100mmとする。</p> <p>2 給水管部は、幅500mm、延長は給水管延長(本管~止水栓距離)-分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。</p>										口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000	NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050	NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050	K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050	口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400	幅	400	450	500	550	600	700	深さ	400	450	500	550	600	800	口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400	幅	700	750	800	850	900	1000	口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	幅	600	600	650	700	900	950	1000	口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	幅	900	900	900	900	1000	1050	1100
口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																																																				
GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																																																				
NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																																																				
K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																																																				
口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																																																				
GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050																																																																																																																																																				
NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050																																																																																																																																																				
K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050																																																																																																																																																				
口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400																																																																																																																																																							
幅	400	450	500	550	600	700																																																																																																																																																							
深さ	400	450	500	550	600	800																																																																																																																																																							
口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400																																																																																																																																																							
幅	700	750	800	850	900	1000																																																																																																																																																							
口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																																																						
幅	600	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																																																						
口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																																																						
幅	900	900	900	900	1000	1050	1100																																																																																																																																																						

特記仕様書
(令和4年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>※ 8 掘削・埋戻し</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 埋戻し一層厚さ20cm未満とする。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 3 管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。</p> <p>※ 9 残土・汚泥・殻処分地</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 処分地は特記仕様書(追記)参照。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。</p> <p style="margin-left: 2em;">ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。</p> <p>※ 10 各種試験</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。</p> <p style="margin-left: 4em;">※ 上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。</p> <p>※ 11 仮設材の運搬</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。</p> <p style="margin-left: 4em;">なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。</p> <p>※ 12 その他事項</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。</p>

章	
4	<p>舗装工</p> <p>※ 1 舗装前準備</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 既設構造物(側溝、街渠等)等に損傷を与えていないか、動いていないか等を確認し、異常がある場合は、適正な方法を検討し、監督員と協議すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 下水道の鉄蓋で古い鉄蓋(コンクリート蓋、コンクリート巻鉄蓋等)がある場合は、舗装復旧前に下水道室が取り替えることがあるので、位置が分かるものと現況写真を提出すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 3 他の地下埋設物の鉄蓋で高さ調整が必要なものは、位置が分かるものと現況写真と高さ調整の程度(+〇cm等)が分かるものを提出すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 4 舗装復旧内に古い消火栓蓋、空気弁蓋、仕切弁蓋がある場合は、取替するかどうか監督員と協議すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 5 切削オーバーレイで施工を予定している。</p> <p style="margin-left: 4em;">土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)及び土木工事施工管理基準(兵庫県県土整備部監修)に記載のとおり、測量し計画書を作成し、監督員の承諾を得たのち、施工すること。</p>

特記仕様書
(令和4年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<ul style="list-style-type: none"> ※ 2 不陸整正工 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 補充材の有無を確認し、路床面の不陸を整正すること。 ※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分は、入念に清掃すること。 ※ 3 乳剤散布 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 ムラにならないよう、均一に散布すること。 ※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分等にも散布すること。 ※ 4 アスファルト舗装工 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 当日舗装版撤去した範囲について、表層まで復旧出来ない場合は監督員と協議すること。 その場合は、周辺住民によく周知し、既設構造物、各種鉄蓋の箇所が歩行者、二輪車、自動車等の交通車両に危険が無いよう、すり合わせし、段差有の看板を立てるなど注意喚起すること。 ※ 5 区画線工 <ul style="list-style-type: none"> 1 インターロッキング舗装等のブロック舗装範囲に消火栓を設置した際の消火栓周り(黄色)の区画線は設置しないこと。 ※ 2 施工直前に施工箇所を清掃し、プライマーを塗布すること。 ※ 3 ガラスビーズを配合すること。 ※ 6 各種試験 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める必要な試験等について、試験位置、試験方法等を事前に監督員に報告すること。 ※ 2 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 アスファルトの現場密度の測定・・・同一配合のアスファルト施工面積500m²未満について省略する。 ※ 2 アスファルトコア採取・・・同一配合のアスファルト施工面積1箇所20m²以上500m²未満の箇所についてコア採取は1箇所とする。また、20m²未満については省略する。 ※ 3 表層の平坦性・・・省略する ※ 4 既設管充填処理に使用するモルタル等の強度試験・・・省略する。 <p style="margin-left: 40px;">7 その他事項</p>

章	
5	<p>推進工</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 工法の選定 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 推進工事の施工については、事前に鳥羽浄水場内でボーリング調査を行った上で、その結果をもとに施工方法の確認を行うこと。 ボーリング調査の結果、工法の変更が生じる場合は、事前に監督員と協議を行うこと。 ※ 2 その他事項 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 鳥羽浄水場内への入退場時間については、平日8:50～17:30までとする。 ※ 2 祝祭日の作業については禁止とする。

特記仕様書
(令和4年度 明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1))

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<ul style="list-style-type: none">※ 3 土曜日の作業については監督職員及び浄水場と協議の上、可能であれば許可するものとする。※ 4 浄水場内での工事の開始及び終了時は、浄水場(委託業者)に毎回必ず作業の開始と終了を報告すること。※ 5 資機材は、鳥羽浄水場内の許可を得た場所に置くことは可能である。 ただし、資機材の管理は受注者の責任において実施すること。 盗難及び破損した場合の補償は、水道局は一切関知しないものとする。※ 6 場内点検職員のために、点検動線を確保すること。※ 7 トイレ等は受注者にて用意すること。※ 8 施工時、北面場外場内道路への車両進入のために車止めの鍵を貸し出すものとする。 鍵は紛失しないように責任を持って管理すること。 また、作業終了時には毎回車止めを上げ、施錠すること。※ 9 施工時、北面場外場内道路を車両等の通行止めを実施する場合には、迂回路等の設定を実施し、必要な看板類を設置すること。また、自転車及び歩行者の通行止めは実施しないこと。

特記仕様書(追記)

1 建設発生土の搬出先

品目	建設発生土
施設の名称	西川建材(株)
所在地	加古川市志方町広尾字大谷88
運搬距離	16.2km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

2 汚泥の搬出先

品目	汚泥
施設の名称	(株)キョウドウ
所在地	姫路市飾磨区中島2071
運搬距離	35.0km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

3 特定建設資材の分別解体等・再資源化等

1)分別解体等の方法

工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設 仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工 土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎 基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造 本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品 本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

2)再資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	アスファルト塊
施設の名称	中谷建材(株)
所在地	高砂市梅井5-2-10
運搬距離	16.4km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

水道工事標準仕様書

1 総則

1.1 (適用)

- 1 水道工事標準仕様書(以下「標準仕様書」という。)は、明石市水道局が発注する水道管(導水・送水・配水)を布設する工事及び給水管工事(以下「工事」という。)に係る工事請負契約書(頭書を含み以下「契約書」という。)及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。
- 2 契約書及び仕様書・設計書・設計図(以下「設計図書」(標準仕様書を除く)という。)に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。
- 3 本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書(日本水道協会)・給水装置工事施行基準(明石市水道局)及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)の水道編の第2章第2節については、適用しない。

1.2 (法令等の厳守)

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3 (書類の提出)

- 1 受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。
- 2 提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4 (監督員)

- 1 監督員とは、水道法第12条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員(主任監督員及び監督員)をいう。

1.5 (工事实績データの登録)

水道工事を2件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が500万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6 (目的物の引渡し)

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼(引渡書)を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2 安全管理

2.1 (事故防止)

- 1 工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。
- 2 掘削及び埋戻し工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

- 3 受注者は熱中症対策等について十分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2 (事故発生時の措置)

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3 (現場の整理整頓)

- 1 受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。
- 2 受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3 工事施工

3.1 (一般事項)

- 1 受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

- 2 施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。
- 3 受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2 (現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査)

- 1 近接構造物(家屋含む)の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。
- 2 施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。
- 3 当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。
- 4 給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。
- 5 その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3 (地元説明)

- 1 受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。
- 2 工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

- 3 施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこの軽減に努めること。
- 4 工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。
- 5 受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。
- 6 給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起らないようにすること。

3.4 (試掘調査)

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

- ・ 試掘断面の地下埋設物の状況
- ・ 既設舗装構成
- ・ 設計図書通りの撤去・埋設が可能か
- ・ 既設管の外面腐食等の異常の有無
- ・ 接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
- ・ その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5 (夜間工事)

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないように十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6 (立会)

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

- ・ 材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
- ・ 通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
- ・ その他監督員が必要と判断した事項

3.7 (工事関係書類の整備)

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4 材料

4.1 (水道材料の規格)

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合には、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

- (1) K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。
- (2) 特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

- (3) K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。
- (4) フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。
- (5) フランジ部の粉体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。
- (6) 弁栓類等で使用するフランジの規格は2種(0.75MPa)とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。
- (7) 仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。
- (8) 鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓(空気弁)鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。
- (9) 割T字管の分岐口径φ150以下について、密着コアを使用すること。
- (10) サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。
- (11) 直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。
- (12) 表示帯(管明示シート)は、15cm幅2倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。
- (13) 管明示テープは、5cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2 (土木材料の規格)

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

- (1) スクリーニングスは、JIS A5001 F-2.5とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。
- (2) 再生砕石は、路盤部分はRC-30とし、その他はRC-40とする。
- (3) 粒調砕石は、M-30とする。
- (4) 再生密粒度アスファルトは、最大粒径13mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (5) 再生粗粒度アスファルトは、最大粒径20mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (6) 再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径25mm、締固め密度2.35t/m³とする。

4.3 (水道材料の確認)

- 1 受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。
- 2 現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。
- 3 仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。
- 4 支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式15)を提出すること。

5 管布設工事

5.1 (配管技能者)

- 1 受注者は、鋳鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はT・K形管等の一般継手(φ450mm以下)、耐震登録はNS・GX形管等の耐震継手(φ450mm以下)、大口径は一般継手と耐震継手(全口径)を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、NS形・耐震管の受講証については、その口径のNS・GX形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。
- 2 受注者は、鋳鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。
- 3 受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準(明石市水道局)に基づき監督・指導すること。
- 4 受注者は、上記以外の管種(配水用ポリエチレン管・鋼管等)の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2 (工種の制限)

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3 (断水を伴う連絡工事)

- 1 断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。
- 2 断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は13時30分から16時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輛等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。
- 3 断水作業及び管内洗浄作業等に必要な弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。
- 4 万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4 (広報活動)

- 1 断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。
- 2 断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3 上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4 受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5 (ボルトの締め付け)

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの7割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6 (使用機材)

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは、先端角度が90°から100°、ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7 (管の明示)

1 管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2 表示帯(管明示シート)は、管天より40cmの位置に丁寧に設置すること。

5.8 (仮消火栓)

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9 (仮舗装復旧)

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10 (水圧試験)

1 水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1) 通常配管(以下の特殊箇所以外)の場合、試験水圧を0.75MPaとする。30分間以上の経過後、低下率1.0%以内を許容限度とする。

(2) 不断水工事の割T字管箇所は、試験水圧を1.25MPaとする。ただし、既設管の状態が悪い場合(FC管又は表面の腐食等が激しい場合)・ACP管・VP管の場合は、最高試験水圧は1.0MPa以下でもよい。5分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3) 中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧0.50MPaを負荷して5分経過後に0.40MPa以上保持することを確認するものとする。

(4) 管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5) 配水管用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2 給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ 1.75MPa まで加圧し、1 分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11 (水道メーターの確認)

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6 提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないとした場合は、この限りでない。

1 工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別）、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長）、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様)とする。また、白色ケント紙 110kg（A 4 サイズ）で作成すること。ただし、休工期等の場合は連続する日を普通紙 1 枚で作成すること。

2 竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1) 配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎）、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値はmm表示とし、整数 1 位を四捨五入とし、2 位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d. 配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2) 消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他 3 点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3) 仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

3 竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙 110kg（A 3 サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、本管深さ、PPユニオン、PPエルボ、VPユニオン、止水栓、ボックス、PPパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

4 その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	3部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	3部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1部	JPEG(A1・カラー・解像度200dpi以上)で保存したCDを提出
竣工図(焼き図)(原則A1サイズ)	竣工時	4部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横15cm×縦23cm)

その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD及びDVDで提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

* 竣工図書は、B4A4サイズの文書保存箱で工事名・施工年度等を明示して納品すること。
(施行期日)

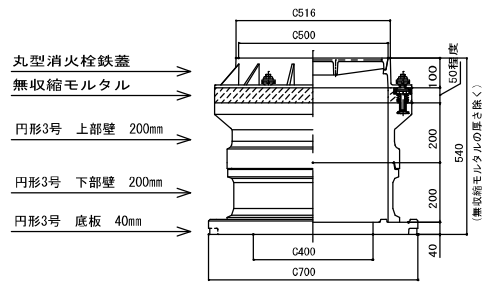
この仕様書は、2020年4月1日より施行する。

使用材料登録業者一覧表

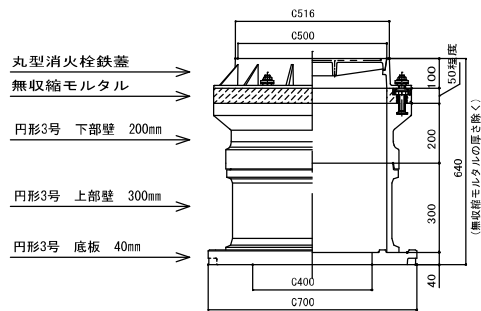
材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用ダクタイル鋳鉄管直管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	GX形5種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱
水道用ダクタイル鋳鉄異形管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鋳工㈱、梅原工業㈱、九州鋳鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー 鋳造
水道用ソフトシール仕切弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、角田鐵工㈱、宮部鐵工㈱
水道用ハタフライ弁 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、クレップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、 宮部鐵工㈱、協和工業㈱、角田鐵工㈱
水道用急速空気弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鐵工㈱、 協和工業㈱、角田鐵工㈱
水道用補修弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、 宮部鐵工㈱、角田鐵工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水バルブ (接水部エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ゴム工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鋳鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
フランジ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、フランジ形はステンレス製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鋳鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鋳螺(株)
ボルト・ナット(SUS304製 緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用ダクタイル鋳鉄管用 ホリエチレンスリーブ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鋳物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(レジンコンクリート製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鋳物㈱ スズキ鋳鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管 PE管	明和工業㈱、㈱多久製作所 ㈱光明製作所

円形3号ボックス組合せ図(標準図)

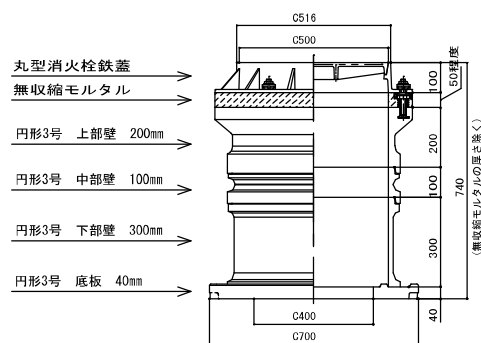
製品高さ H = 540



製品高さ H = 640



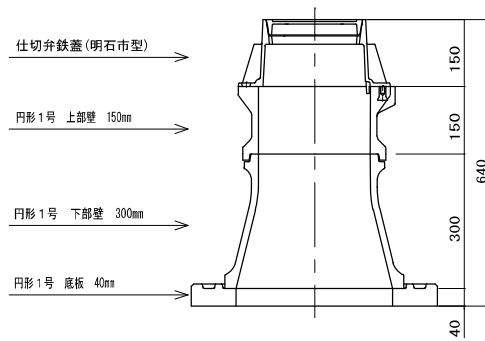
製品高さ H = 740



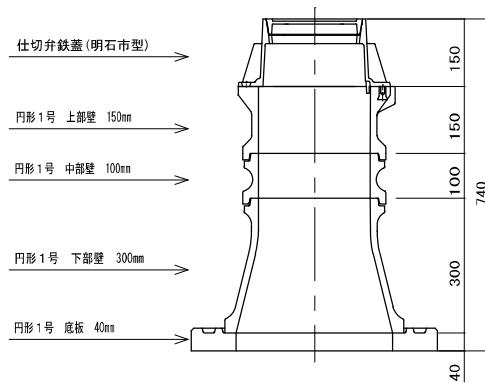
図名	組合せ図(標準図)
種類	円形3号ボックス
明石市水道局	

円形1号ボックス組合せ図(標準図)

製品高さH=640



製品高さH=740



図名	組合せ図(標準図)
種類	円形1号ボックス
明石市水道局	

φ 400配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)				当初		備考
				本数	延長	
直管 (L= 6.0 m)				155	930.000	
切管使用本数				34	177.960	
甲切管	DGX-G-1			34	108.720	
乙切管①	DGX-G-1			29	48.820	
	DGX-K-1			2	3.000	
乙切管②	DG-G-1			12	17.420	
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
DGX-S	直管	φ 400		155	930.000	
DGX-1	直管	φ 400		34	177.960	
DGX	曲管	φ 400 × 90°	0.891	5	4.455	
DGX	曲管	φ 400 × 45°	0.641	28	17.948	
DGX	曲管	φ 400 × 22° 1/2	0.498	14	6.972	
DGX	曲管	φ 400 × 11° 1/4	0.420	4	1.680	
DGX	曲管	φ 400 × 5° 5/8	0.390	1	0.390	
DGX	両受曲管	φ 400 × 45°	0.336	20	6.720	
DGX	両受曲管	φ 400 × 22° 1/2	0.208	9	1.872	
DGX	フランジ付きT字管	φ 400 × 75	0.465	2	0.930	
DGX	継ぎ輪	φ 400	0.300	4	1.200	
DGX	継ぎ輪用特殊押輪	φ 400		4		
DGX	両受短管	φ 400	0.020	7	0.140	
GX形	バタフライ弁(両受)	φ 400	0.500	2	1.000	
	バタフライ弁室(明石IV型・丸型)(耐スリップ用 車道)	H=1040		1		
	バタフライ弁室(明石IV型・丸型)(耐スリップ用 車道)	H=1140		1		
	カムレバーロック式急速空気弁	φ 75		2		
	ケレップ式単口消火栓(浅埋形)	φ 75 × 65		1		次期工事転用
	フランジ短管	φ 75 × 150		4		うち1個次期工事転用
	フランジ短管	φ 75 × 400		2		うち1個次期工事転用
	補修弁(キャップ式)	φ 75 × 100		3		うち1個次期工事転用
	フランジ継手材(RF形)	φ 75		4		次期工事転用
	フランジ接合補強具(LSP形)	φ 75		8		
	空気弁室(明石IV型・丸型)(耐スリップ用 車道)	H=840		1		
	空気弁室(明石IV型・丸型)(耐スリップ用 車道)	H=1040		1		
	消火栓室(明石IV型・丸型)(耐スリップ用 車道)	H=1040		1		次期工事転用
GX形	接合セット	φ 400		134		
GX形	ライナ	φ 400		51		
GX形	挿しロリング	φ 400		87		
DK	受挿し片落管	φ 700 × 400	1.050	1	1.050	
DK	フランジ付きT字管	φ 400 × 75	0.770	1	0.770	次期工事転用
DK	継ぎ輪	φ 400		1		
DK	帽	φ 400		1		特殊押輪含む
K形	特殊押輪(3DkN)	φ 400		3		
K形	特殊押輪(3DkN)	φ 700		1		
K形	特殊割押輪	φ 700		4		
GX形	推力伝達リング	φ 400		6		
	表示帯			1153.1		
	ポリエチレンスリーブ	φ 400		1153.1		
	管明示テープ(区間距離 × 2.34 / 20 =)			135		
管材料延長計					1153.087	

φ 400配水管(手間)

名称・形質等	数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工 φ 400	1137.0 m	区間距離-ハタフライ弁延長計-推進さや管内
鋳鉄管切断工 φ 400	2 口	
鋳鉄管切断溝切加工(同時) φ 400	74 口	
鋳鉄管溝切加工 φ 400	13 口	
GX継手挿し口加工(挿し口リング取付) φ 400	87 口	
ハタフライ弁設置工 φ 400	2 箇所	
ハタフライ弁ボックス設置工 H=1040	1 箇所	円形3号
ハタフライ弁ボックス設置工 H=1140	1 箇所	円形3号
空気弁設置工 φ 75	2箇所	
消火栓設置工	1箇所	フランジ継手工 φ 75 1口含む
フランジ継手工 φ 75	11 口	消火栓・空気弁箇所
空気弁ボックス設置工 H=840	1 箇所	円形3号
空気弁ボックス設置工 H=1040	1 箇所	円形3号
消火栓ボックス設置工 H=1040	1 箇所	円形3号
GX継手工(直管接合) φ 400	189 口	
GX継手工(異形管接合) φ 400	134 口	
メカニカル継手工(特殊押輪) φ 400	4 口	帽設置工 1口含む
メカニカル継手工(特殊押輪) φ 700	1 口	
メカニカル継手工(特殊割押輪) φ 700	4 口	
鋳鉄管挿入工 φ 400	15.1 m	推進さや管内
GX継手推力伝達リング取付工 φ 400	6 口	
管明示シート工	1153.1 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ 400	1153.1 m	
管明示テープ工 φ 400	1153.1 m	

φ400配水管土工集計表

	全体	土工無	土工A1	土工A2	土工A3	土工A4	土工B1	土工B2	土工B3	土工C1	土工C2	土工C3	土工C4	土工C5	土工C6	土工C7	土工D1	土工E1	推進土工
延長 箇所等	1153.1		7.0	39.7	8.2	3.0	216.0	32.7	8.4	106.8	32.5	616.8	3.1	13.6	24.7	8.1	8.6	4箇所	23.9
会所掘 箇所	5		0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0		

工種	合計 数量	採用 数量	単位	土工A1	土工A2	土工A3	土工A4	土工B1	土工B2	土工B3	土工C1	土工C2	土工C3	土工C4	土工C5	土工C6	土工C7	土工D1	土工E1
舗装版切断(As) t≤15cm	2282.40	2280	m	14.00	79.40	16.40	6.00	432.00	65.40	16.80	213.60	65.00	1233.60	6.20	27.20	49.40	16.20	17.20	24.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	1137.20	1140	m2	7.00	39.70	8.20	3.00	216.00	32.70	8.40	106.80	32.50	616.80	3.10	13.60	24.70	8.10	8.60	8.00
掘削積込工	2157.26	2200	m3	10.01	64.71	19.11	7.89	352.88	69.65	18.73	179.42	62.30	1221.26	6.76	33.73	66.20	24.14	20.47	
掘削積込工(補助的作業なし)	9.20	9	m3																9.20
掘削(人力)	9.04	9	m3																9.04
残塊処分工(As)	72.63	73	m3	0.70	3.97	0.82	0.30	21.60	3.27	0.84	5.34	1.63	30.84	0.16	0.68	1.24	0.41	0.43	0.40
残塊処分工(土砂)	2175.50	2200	m3	10.01	64.71	19.11	7.89	352.88	69.65	18.73	179.42	62.30	1221.26	6.76	33.73	66.20	24.14	20.47	18.24
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	1137.20	1140	m2	7.00	39.70	8.20	3.00	216.00	32.70	8.40	106.80	32.50	616.80	3.10	13.60	24.70	8.10	8.60	8.00
路盤工(粒調碎石) t=10cm	822.20	822	m2								106.80	32.50	616.80	3.10	13.60	24.70	8.10	8.60	8.00
路盤工(粒調碎石) t=15cm	315.00	315	m2	7.00	39.70	8.20	3.00	216.00	32.70	8.40									
埋戻工(再生碎石)	1226.44	1200	m3	4.20	31.76	12.30	5.40	172.80	42.51	11.76	90.78	34.13	709.32	4.19	22.44	45.70	17.42	13.33	8.40
埋戻工(スクリーニングス)	675.01	680	m3	4.12	23.34	4.82	1.76	127.81	19.23	4.94	62.80	20.31	362.68	1.82	8.00	14.52	4.76	5.06	9.04
アルミ矢板設置撤去工 H=2.0m	369.50	369.5	m	7.00	39.70			216.00			106.80								
アルミ矢板設置撤去工 H=2.5m	693.50	693.5	m						32.70	8.40		32.50	616.80	3.10					
アルミ矢板設置撤去工 H=3.0m	58.10	58.1	m			8.20	3.00								13.60	24.70		8.60	
アルミ矢板設置撤去工 H=3.5m	8.10	8.1	m														8.10		
軽量鋼矢板設置撤去工 H=3.0m	4.00	4.0	m																4.00

↑
別途計上

φ400配水管(土工A1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石15cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
7.0	1.00	1.00	0.10		1.53	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			7.0 × 2	14.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		× 7.0	7.00
掘削積込工	1.43	1.00 ×	1.43 ×	7.0	10.01
残塊処分工(As)			7.00 ×	0.10	0.70
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			10.01
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 7.0	7.00
路盤工(粒調碎石)	0.15	1.00		× 7.0	7.00
埋戻工(再生碎石)	0.60	1.00 ×	0.60 ×	7.0	4.20
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	7.0	4.12
(管断面控除)		—	0.142	× 7.0	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0		7.0		7.00

φ400配水管(土工A2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石15cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
39.7	1.00	1.20	0.10		1.73	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			39.7 × 2	79.40
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		× 39.7	39.70
掘削積込工	1.63	1.00 ×	1.63 ×	39.7	64.71
残塊処分工(As)				39.70 × 0.10	3.97
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			64.71
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 39.7	39.70
路盤工(粒調碎石)	0.15	1.00		× 39.7	39.70
埋戻工(再生碎石)	0.80	1.00 ×	0.80 ×	39.7	31.76
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	39.7	23.34
(管断面控除)		—	0.142	× 39.7	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0			39.7	39.70

φ400配水管(土工A3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石15cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
8.2	1.00	1.90	0.10		2.43	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			8.2 × 2	16.40
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		× 8.2	8.20
掘削積込工	2.33	1.00 ×	2.33 ×	8.2	19.11
残塊処分工(As)		8.20 ×	0.10		0.82
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			19.11
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 8.2	8.20
路盤工(粒調碎石)	0.15	1.00		× 8.2	8.20
埋戻工(再生碎石)	1.50	1.00 ×	1.50 ×	8.2	12.30
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	8.2	4.82
(管断面控除)		— 0.142		× 8.2	
アルミ矢板設置撤去工	H=3.0	8.2			8.20

φ400配水管(土工A4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石15cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
3.0	1.00	2.20	0.10		2.73	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			3.0 × 2	6.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		× 3.0	3.00
掘削積込工	2.63	1.00 ×	2.63 ×	3.0	7.89
残塊処分工(As)		3.00 ×	0.10		0.30
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			7.89
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 3.0	3.00
路盤工(粒調碎石)	0.15	1.00		× 3.0	3.00
埋戻工(再生碎石)	1.80	1.00 ×	1.80 ×	3.0	5.40
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	3.0	1.76
(管断面控除)		—	0.142	× 3.0	
アルミ矢板設置撤去工	H=3.0	3.0			3.00

φ400配水管(土工B1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石15cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
216.0	1.00	1.20	0.10	2	1.73	矢板有

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			216.0 ×	2	432.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		×	216.0	216.00
掘削積込工	1.63	1.00 ×	1.63 ×	216.0		352.88
		+ 1.00 ×	0.50 ×	0.80 ×	2	
残塊処分工(As)				216.00 ×	0.10	216.00
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量		352.88
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		×	216.0	216.00
路盤工(粒調碎石)	0.15	1.00		×	216.0	216.00
埋戻工(再生碎石)	0.80	1.00 ×	0.80 ×	216.0		172.80
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	216.0		127.81
(管断面控除)		+ 1.00 ×	0.50 ×	0.80 ×	2	
		- 0.142		×	216.0	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0			216.0		216.00

φ400配水管(土工B2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石15cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
32.7	1.00	1.70	0.10		2.23	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			32.7 × 2	65.40
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		× 32.7	32.70
掘削積込工	2.13	1.00 ×	2.13 ×	32.7	69.65
残塊処分工(As)				32.70 × 0.10	3.27
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量	69.65
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 32.7	32.70
路盤工(粒調碎石)	0.15	1.00		× 32.7	32.70
埋戻工(再生碎石)	1.30	1.00 ×	1.30 ×	32.7	42.51
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	32.7	19.23
(管断面控除)		—	0.142	× 32.7	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.5			32.7	32.70

φ400配水管(土工B3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道10cm	As5cm	粒調碎石15cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
8.4	1.00	1.80	0.10		2.33	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			8.4 × 2	16.80
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.10	1.00		× 8.4	8.40
掘削積込工	2.23	1.00 ×	2.23 ×	8.4	18.73
残塊処分工(As)		8.40 ×	0.10		0.84
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			18.73
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 8.4	8.40
路盤工(粒調碎石)	0.15	1.00		× 8.4	8.40
埋戻工(再生碎石)	1.40	1.00 ×	1.40 ×	8.4	11.76
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	8.4	4.94
(管断面控除)		—	0.142	× 8.4	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.5	8.4			8.40

φ400配水管(土工C1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
106.8	1.00	1.20	0.05		1.73	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			106.8 × 2	213.60
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.00		× 106.8	106.80
掘削積込工	1.68	1.00 ×	1.68 ×	106.8	179.42
残塊処分工(As)		106.80 ×	0.05		5.34
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			179.42
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 106.8	106.80
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00		× 106.8	106.80
埋戻工(再生碎石)	0.85	1.00 ×	0.85 ×	106.8	90.78
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	106.8	62.80
(管断面控除)		—	0.142	× 106.8	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0	106.8			106.80

φ400配水管(土工C2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
32.5	1.00	1.40	0.05	3	1.93	矢板有

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			32.5 ×	2	65.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.00		×	32.5	32.50
掘削積込工	1.88	1.00 ×	1.88 ×	32.5		62.30
		+ 1.00 ×	0.50 ×	0.80 ×	3	
残塊処分工(As)				32.50 ×	0.05	1.63
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量		62.30
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		×	32.5	32.50
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00		×	32.5	32.50
埋戻工(再生碎石)	1.05	1.00 ×	1.05 ×	32.5		34.13
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	32.5		20.31
(管断面控除)		+ 1.00 ×	0.50 ×	0.80 ×	3	
		- 0.142	×	32.5		
アルミ矢板設置撤去工	H=2.5			32.5		32.50

φ400配水管(土工C3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
616.8	1.00	1.50	0.05		2.03	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			616.8 × 2	1233.60
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.00		× 616.8	616.80
掘削積込工	1.98	1.00 ×	1.98 ×	616.8	1221.26
残塊処分工(As)				616.80 × 0.05	30.84
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量	1221.26
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 616.8	616.80
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00		× 616.8	616.80
埋戻工(再生碎石)	1.15	1.00 ×	1.15 ×	616.8	709.32
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	616.8	362.68
(管断面控除)		—	0.142	× 616.8	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.5			616.8	616.80

φ400配水管(土工C4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
3.1	1.00	1.70	0.05		2.23	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			3.1 × 2	6.20
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.00		× 3.1	3.10
掘削積込工	2.18	1.00 ×	2.18 ×	3.1	6.76
残塊処分工(As)		3.10 ×	0.05		0.16
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			6.76
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 3.1	3.10
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00		× 3.1	3.10
埋戻工(再生碎石)	1.35	1.00 ×	1.35 ×	3.1	4.19
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	3.1	1.82
(管断面控除)		—	0.142	× 3.1	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.5	3.1			3.10

φ400配水管(土工C5)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
13.6	1.00	2.00	0.05		2.53	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			13.6 × 2	27.20
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.00		× 13.6	13.60
掘削積込工	2.48	1.00 ×	2.48 ×	13.6	33.73
残塊処分工(As)		13.60 ×	0.05		0.68
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			33.73
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 13.6	13.60
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00		× 13.6	13.60
埋戻工(再生碎石)	1.65	1.00 ×	1.65 ×	13.6	22.44
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	13.6	8.00
(管断面控除)		—	0.142	× 13.6	
アルミ矢板設置撤去工	H=3.0	13.6			13.60

φ400配水管(土工C6)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
24.7	1.00	2.20	0.05		2.73	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			24.7 × 2	49.40
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.00		× 24.7	24.70
掘削積込工	2.68	1.00 ×	2.68 ×	24.7	66.20
残塊処分工(As)			24.70 ×	0.05	1.24
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			66.20
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 24.7	24.70
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00		× 24.7	24.70
埋戻工(再生碎石)	1.85	1.00 ×	1.85 ×	24.7	45.70
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	24.7	14.52
(管断面控除)		—	0.142	× 24.7	
アルミ矢板設置撤去工	H=3.0			24.7	24.70

φ400配水管(土工C7)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
8.1	1.00	2.50	0.05		3.03	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			8.1 × 2	16.20
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.00		× 8.1	8.10
掘削積込工	2.98	1.00 ×	2.98 ×	8.1	24.14
残塊処分工(As)		8.10 ×	0.05		0.41
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			24.14
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 8.1	8.10
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00		× 8.1	8.10
埋戻工(再生碎石)	2.15	1.00 ×	2.15 ×	8.1	17.42
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	8.1	4.76
(管断面控除)		—	0.142	× 8.1	
アルミ矢板設置撤去工	H=3.5	8.1			8.10

φ400配水管(土工D1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	歩道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-1 φ400	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板 矢板有
8.6	1.00	1.90	0.05		2.43	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			8.6 × 2	17.20
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	1.00		× 8.6	8.60
掘削積込工	2.38	1.00 ×	2.38 ×	8.6	20.47
残塊処分工(As)		8.60 ×	0.05		0.43
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			20.47
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	1.00		× 8.6	8.60
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00		× 8.6	8.60
埋戻工(再生碎石)	1.55	1.00 ×	1.55 ×	8.6	13.33
埋戻工(スクリーニングス)	0.73	1.00 ×	0.73 ×	8.6	5.06
(管断面控除)		— 0.142		× 8.6	
アルミ矢板設置撤去工	H=3.0	8.6			8.60

φ700特殊割押輪(土工E1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道	As5cm	粒調碎石10cm

施工管種

管種	管外径	管断面積
鑄鉄管φ700	0.733	0.422

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚
1.00	2.00	0.40	1.40	2.54	0.05

工種	施工厚	計算式				数量	4箇所計
		幅等	厚	延長	箇所等		
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	2.00 ×	2 +	1.00 ×	2	6.00	24.00
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	2.00	×	1.00		2.00	8.00
掘削積込工(補助的作業なし)	1.15	2.00 ×	1.15 ×	1.00		2.30	9.20
掘削(人力) (管断面控除)	1.34	2.00 × — 0.422	1.34 × ×	1.00 1.00		2.26	9.04
残塊処分工(As)		2.00 ×	0.05			0.10	0.40
残塊処分工(土砂)		2.30 +	2.26			4.56	18.24
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	2.00	×	1.00		2.00	8.00
路盤工(粒調碎石)	0.10	2.00	×	1.00		2.00	8.00
埋戻工(再生碎石)	1.05	2.00 ×	1.05 ×	1.00		2.10	8.40
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	1.34	2.00 × — 0.422	1.34 × ×	1.0 1.0		2.26	9.04
軽量鋼矢板設置撤去工	H=3.0	1.0				1.00	4.00

推進工 労務費 数量総括表

工種	種別	形状寸法	数量	単位	摘要
推進工	－推進工－				
	【推進工】				
	推進工	鋼製さや管	14.0	m	
		さや管: φ711.2 鋼管 STK-400 t=9.5mm L=1.0m/本 さや管長:L=14.00m			
		発生土処理: $V=0.7112^2 \times 3.14 / 4 \times 14.00 = 5.6m^3$			
		メタルクラウン	1	個	
	バキューム車運転処分工		5.6	m ³	
	中込め注入工		3.4	m ³	
	機械据付・撤去		1	回	
	鏡切工		2	箇所	
	坑口止水工		2	箇所	
	滑剤・中込注入設備工		1	式	
	推進水替工		1	式	
	【薬液注入工】				
	(立坑坑口部) 薬液注入工	【1本当り】 削孔長6.76m(粘性0.95m 砂質5.80m 砂礫0.01m)	12	本	
		注入長3.21m (粘性N=0～4・・・0.40m 粘性N=4～8・・・0.00m)			
		(砂質N=0～30・・・1.05m 砂質N=30以上・・・1.75m) (砂礫N=0～50・・・0.01m 砂質N=50以上・・・0.00m)			
		注入量1.14KL			
	(到達立坑坑口部) 薬液注入工	【1本当り】 削孔長7.09m(粘性0.95m 砂質6.13m 砂礫0.01m)	12	本	
		注入長3.21m (粘性N=0～4・・・0.40m 粘性N=4～8・・・0.00m)			
		(砂質N=0～30・・・1.05m 砂質N=30以上・・・1.75m) (砂礫N=0～50・・・0.01m 砂質N=50以上・・・0.00m)			
		注入量1.158KL			
	注入設備据付・撤去		1	現場	

推進工

数量計算書

種 別	形状寸法	計 算 式	数 量
—推進工—			
【推進工】			
推進工	鋼製さや管	14.00 = 14.00	14.0 m
	さや管: φ 711.2 鋼管 STK-400 t=9.5mm L=1.0m/本 さや管長:L=14.00m		
	発生土処理:V=0.7112 ² *3.14/4*14.00=5.6m ³		
バキューム車運転処分工	発生土処理:V=0.7112 ² *3.14/4*14.00=5.6m ³		5.6 m ³
中込め注入工		$((0.7/2)^2 * \pi - (0.425/2)^2 * \pi) * 14 = 3.40$	3.4 m ³
機械据付・撤去			1 回
鏡切工	φ 700 発進・到達	φ 700 3.86m	2 箇所
坑口止水工			2 箇所

種 別	形状寸法	計 算 式	数 量
【薬液注入工】			
(発進立坑坑口部) 薬液注入工	【1本当り】 削孔長6.76m(粘性0.95m 砂質5.80m 砂礫0.01m)	別紙計算書より 12 = 12	12 本
	注入長3.21m (粘性N=0~4...0.40m 粘性N=4~8...0.00m)		
	(砂質N=0~30...1.05m 砂質N=30以上...1.75m) (砂礫N=0~50...0.01m 砂質N=50以上...0.00m)		
	注入量1.14KL		
(到達立坑坑口部) 薬液注入工	【1本当り】 削孔長7.09m(粘性0.95m 砂質6.13m 砂礫0.01m)	別紙計算書より 12 = 12	12 本
	注入長3.21m (粘性N=0~4...0.40m 粘性N=4~8...0.00m)		
	(砂質N=0~30...1.05m 砂質N=30以上...1.75m) (砂礫N=0~50...0.01m 砂質N=50以上...0.00m)		
	注入量1.158KL		
薬液注入設備据付解体	二重管ストレーナ工法 2セット	1 = 1	1 現場

別紙 薬液注入工数量計算書

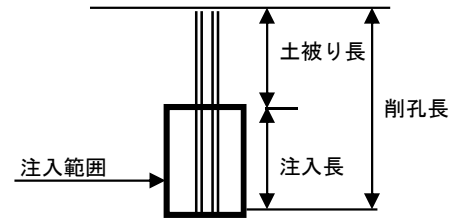
発進立抗 坑口部 [溶液型] 二重管ストレーナ(複相式)

① Q_s (1本当り注入量)の算定

n: 注入総本数	12本
----------	-----

A: 注入面積	11.262	=	11.26m ²
---------	--------	---	---------------------

土質	N値	注入率 a	層厚 b	注入量 $A * a * b$
粘性土	0~4	36.8%	0.40m	1.657KL
	4~8	24.0%		0.000KL
砂質土	0~30	39.5%	1.05m	4.670KL
	30以上	37.1%	1.75m	7.311KL
砂礫土	0~50	36.0%	0.01m	0.041KL
	50以上	31.5%		0.000KL



総注入量	13.679KL
------	----------

Q = 総注入量/n(注入用消耗材料費算定用)			
13.679	/	12	= 1.140KL

別紙 薬液注入工数量計算書

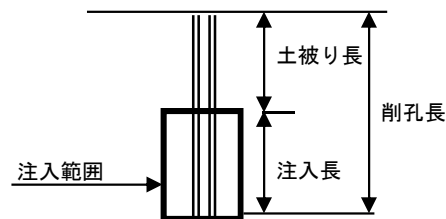
到達立坑 坑口部 [溶液型] 二重管ストレーナ(複相式)

① Q_s (1本当り注入量)の算定

n: 注入総本数	12本
----------	-----

A: 注入面積	11.441	=	11.44m ²
---------	--------	---	---------------------

土質	N値	注入率 a	層厚 b	注入量 $A * a * b$
粘性土	0~4	36.8%	0.40m	1.684KL
	4~8	24.0%		0.000KL
砂質土	0~30	39.5%	1.05m	4.745KL
	30以上	37.1%	1.75m	7.427KL
砂礫土	0~50	36.0%	0.01m	0.041KL
	50以上	31.5%		0.000KL



総注入量	13.897KL
------	----------

$Q = \text{総注入量} / n$ (注入用消耗材料費算定用)			
13.897	/	12	= 1.158KL

鋼製ケーシング立坑数量集計表（発進立坑）

名称	種別 / 規格	単位	発進立坑 φ3000		備考	
舗装工	舗装版切断 (As) t=15cm以下	m	9.6			
	舗装版直接掘削積込 (As) t=10cm以下	m ²	7			
	仮復旧工	上層路盤工 粒調碎石 t=15cm	m ²	7		M-30
		表層工 密粒度アスコン t=5cm	m ²	7		
立坑土工	一般土工	m ³				
	掘削深9m以下	(粘性土 N≤5)	m ³	7		
		(砂質土 30<N≤50)	m ³	42		
		(礫質土 30<N≤50)	m ³	8		
		小計	m ³	58		
	埋戻	埋戻工	m ³	40		
		コンクリート工(18-8-40BB)	m ³	3		
		型枠	m ²	8		
		スクリーニングス工	m ³	1		
	残塊処分工	アスファルト	m ³	0.4		
残土処分工	発生土	m ³	58			
立坑土留工	立坑深	m	6.4			
	撤去深	m	1.8			
	残置深	m	5.0			
	圧入掘削積込	掘削深9m以下	(粘性土 N≤5)	m	1.0	
			(粘性土 5<N≤30)	m		
			(砂質土 N≤30)	m	4.1	
			(砂質土 30<N≤50)	m	1.8	
			(礫質土 N≤30)	m	1.2	
			(礫質土 30<N≤50)	m		
			小計	m	7.9	
	掘削深合計	m	7.9			
	圧入深	m	8.1			
	ケーシング	t=22mm φ3000 全長	m	6.8		
		先頭ケーシング L=2.000m	本	1		
		中間ケーシング L=2.000m	本	1		
		中間ケーシング L=1.800m	本	1		
		最終ケーシング L=1.000m	本	1		
仮設ケーシング L=2.500m		本	1			
鋼管溶接工	N=3箇所	m	28.2	9.4m/箇所		
鋼管切断工		m	16.7			
ケーシング引上げ		m	1.2			
底板コンクリート		m ³	11			
スクラップ工		t	3.11			
スライム処分量		m ³	3			
覆工板設置・撤去工	専用蓋 φ3000 用	組	1			

発進立坑

名 称	計 算 式			数 量	
立坑深		(鋼管 呼び径φ 3000)	=	6.410 m	
ケーシング 全長	t=22mm		=	6.800 m	
	先端ケーシング	1 本 L= 2.000 m	=	2.000 m	
	中間ケーシング	1 本 L= 2.000 m	=	2.000 m	
	中間ケーシング	1 本 L= 1.800 m	=	1.800 m	
	最終ケーシング	1 本 L= 1.000 m	=	1.000 m	
	仮設ケーシング	1 本 L= 2.500 m	=	2.500 m	
撤去深		h = 1.000 + 0.820	=	1.820 m	
残置深		h = 6.800 - 1.820	=	4.980 m	
掘削深	H=9.0m以下	(粘性土 N≤5)	0.950	=	0.950 m
		(粘性土 5<N≤30)		=	m
		(砂質土 N≤30)	4.050	=	4.050 m
		(砂質土 30<N≤50)	1.750	=	1.750 m
		(礫質土 N≤30)	1.160	=	1.160 m
		(礫質土 30<N≤50)		=	m
			小計 =	7.910 m	
	総掘削深		合計 =	7.910 m	
圧入深		7.910 + 0.200	=	8.110 m	
鋼管溶接工		9.4 × 3	=	28.2 m	
鋼管切断工		$\pi \times 3.000 + 1.820 \times 4$	=	16.7 m	
ケーシング引上げ			=	1.2 m	
底版コンクリート			=	10.6 m ³	
スクラップ 工	鋼管	1665kg/m × 1.820	=	3030 kg	
	鏡切部	$172.7\text{kg/m}^2 \times \pi/4 \times (0.750^2 \times 1\text{箇所})$	=	76 kg	
			=	3106 kg	
スライム処分量			=	2.8 m ³	
覆工板設置・撤去工	専用蓋	鋼管 (φ 3000 用)		1 組	

発進立坑

名 称	計 算 式			数 量
掘削工	ラムシェル掘削	(9.0m未満) 掘削深 =		7.910 m
	(粘性土)	$\pi/4 \times 3.044^2 \times (0.950 +) =$		6.91 m ³
	(砂質土)	$\pi/4 \times 3.044^2 \times (4.050 + 1.750) =$		42.21 m ³
	(礫質土)	$\pi/4 \times 3.044^2 \times (1.160) =$		8.44 m ³
			小計 =	57.56 m ³
	合計		=	57.56 m ³
埋戻工	埋戻	$\pi/4 \times 3.000^2 \times (6.410 - 0.15 - 0.05) =$		
	計		=	43.90 m ³
	コンクリート工	$1.90 \times 1.03 \times 1.650 =$		3.23 m ³
	型枠	$4.83 \times 1.650 =$		7.97 m ²
	管路控除	$0.43^2 \times \pi/4 \times (4.030 - 0.683) =$		0.48 m ³
	スクリーニングス工	$3.35 \times 0.63^2 \times \pi/4 - 0.48 =$		0.55 m ³
	埋戻工	$43.90 - 3.23 - 0.48 - 0.55 =$		39.64 m ³
	合計		=	39.64 m ³
発生土処分工		57.56	=	57.56 m ³
舗装撤去工	舗装版切断工	t=15cm以下 $\pi \times 3.044 =$		9.56 m
		t=10cm以下 $\pi/4 \times 3.044^2 =$		7.28 m ²
	舗装版取壊し工	$7.28 \times 0.05 =$		0.36 m ³
舗装仮復旧工	上層路盤工	粒調碎石 t=15cm		7.28 m ²
	表層工	密粒度アスコン t=5cm		7.28 m ²

鋼製ケーシング立坑数量集計表（到達立坑）

名称	種別 / 規格	単位	到達立坑 φ2000	備考		
舗装工	舗装版切断 (As) t=15cm以下	m	6.4			
	舗装版直接掘削積込 (As) t=10cm以下	m ²	3			
	仮復旧工	上層路盤工 粒調碎石 t=15cm	m ²	3	M-30	
		表層工 密粒度アスコン t=5cm	m ²	3		
立坑土工	一般土工	m ³				
	掘削深9m以下	(粘性土 N≤5)	m ³	3		
		(砂質土 30<N≤50)	m ³	20		
		(礫質土 30<N≤50)	m ³	2		
		小計	m ³	25		
	埋戻	埋戻工	m ³	17		
		コンクリート工(18-8-40BB)	m ³	2		
		型枠	m ²	6		
		スクリーニングス工	m ³	0.5		
	残塊処分工	アスファルト	m ³	0.3		
残土処分工	発生土	m ³	25			
立坑土留工	立坑深	m	6.6			
	撤去深	m	2.8			
	残置深	m	4.0			
	圧入掘削積込	掘削深9m以下	(粘性土 N≤5)	m	1.0	
			(粘性土 5<N≤30)	m		
			(砂質土 N≤30)	m	4.4	
			(砂質土 30<N≤50)	m	1.8	
			(礫質土 N≤30)	m	0.5	
			(礫質土 30<N≤50)	m		
			小計	m	7.6	
	掘削深合計	m	7.6			
	圧入深	m	7.8			
	ケーシング	t=16mm φ2000 全長	m	6.8		
		先頭ケーシング [°]	L=2.000m	本	1	
		中間ケーシング [°]	L=1.790m	本	1	
		中間ケーシング [°]	L=2.000m	本	1	
		最終ケーシング [°]	L=1.000m	本	1	
仮設ケーシング [°]		L=2.000m	本	1		
鋼管溶接工	N=3箇所	m	18.9			
鋼管切断工		m	17.4			
ケーシング引上げ		m	0.9			
底版コンクリート		m ³	3			
スクラップ [°] 工		t	1.76			
スライム処分量		m ³	1.2			
覆工板設置・撤去工	専用蓋 φ2000 用	組	1.0			

到達立坑

名 称	計 算 式			数 量	
立坑深		(鋼管 呼び径φ 2000)	=	6.590 m	
ケーシング 全長	t=16mm		=	6.790 m	
	先端ケーシング	1 本 L= 2.000 m	=	2.000 m	
	中間ケーシング	1 本 L= 1.790 m	=	1.790 m	
	中間ケーシング	1 本 L= 2.000 m	=	2.000 m	
	最終ケーシング	1 本 L= 1.000 m	=	1.000 m	
	仮設ケーシング	1 本 L= 2.000 m	=	2.000 m	
撤去深		h = 1.000 + 1.790	=	2.790 m	
残置深		h = 6.790 - 2.790	=	4.000 m	
掘削深	H=9.0m以下	(粘性土 N≤5)	0.950	=	0.950 m
		(粘性土 5<N≤30)		=	m
		(砂質土 N≤30)	4.380	=	4.380 m
		(砂質土 30<N≤50)	1.750	=	1.750 m
		(礫質土 N≤30)	0.510	=	0.510 m
		(礫質土 30<N≤50)		=	m
			小計 =	7.590 m	
	総掘削深		合計 =	7.590 m	
圧入深		7.590 + 0.200	=	7.790 m	
鋼管溶接工		6.3 × 3	=	18.9 m	
鋼管切断工		$\pi \times 2.000 + 2.790 \times 4$	=	17.4 m	
ケーシング引上げ			=	0.9 m	
底版コンクリート			=	3.1 m ³	
スクラップ 工	鋼管(別途施工)	615kg/m × 2.790	=	1716 kg	
	鏡切部	94.2kg/m ² × $\pi/4 \times (0.750^2 \times 1箇所)$	=	42 kg	
			=	1758 kg	
スライム処分量			=	1.2 m ³	
覆工板設置・撤去工	専用蓋	鋼管(φ 2000 用)		1 組	

到達立坑

名 称	計 算 式		数 量
掘削工	クラムシェル掘削	(9.0m未満) 掘削深 =	7.590 m
	(粘性土)	$\pi/4 \times 2.032^2 \times (0.950 +) =$	3.08 m3
	(砂質土)	$\pi/4 \times 2.032^2 \times (4.380 + 1.750) =$	19.88 m3
	(礫質土)	$\pi/4 \times 2.032^2 \times (0.510 +) =$	1.65 m3
		小計 =	24.61 m3
	合計	=	24.61 m3
埋戻工 (別途施工)	一次埋戻	$\pi/4 \times 2.000^2 \times (6.590 - 0.15 - 0.05) =$	
	計	=	20.07 m3
	コンクリート工	$1.40 \times 1.03 \times 1.650 =$	2.38 m3
	型枠	$3.83 \times 1.650 =$	6.32 m2
	管路控除	$0.43^2 \times \pi/4 \times (3.390 - 0.678) =$	0.39 m3
	スクリーニングス工	$2.71 \times 0.63^2 \times \pi/4 - 0.39 =$	0.45 m3
	埋戻工	$20.07 - 2.38 - 0.39 - 0.45 =$	16.85 m3
	合計	=	16.85 m3
発生土処分工	24.61	=	24.61 m3
舗装撤去工	舗装版切断工	t=15cm以下 $\pi \times 2.032 =$	6.38 m
	舗装版取壊し工	t=10cm以下 $\pi/4 \times 2.032^2 =$	3.24 m2
		$3.24 \times 0.10 =$	0.32 m3
舗装仮復旧工	上層路盤工	粒調碎石 t=15cm	3.24 m2
	表層工	密粒度アスコン t=5cm	3.24 m2

既設管撤去工

鋳鉄管吊込み撤去工

口径	延長 (m)	撤去重量 (t)	土工延長計 (m)			
合計	33.0	1.65	28.0			
75 0.018 t/m	28.0	0.51	28.0	撤去土工1 28.0		
700 0.228 t/m	5.0	1.14	0.0			

鋳鉄管(既設管)撤去切断工

口径	切断箇所計 (口)	既設管と 切断にて接 続箇所(口)	既設管連続 場所の切断 箇所(口)	計算式
75	11	2	9	28/3
700	2	1	1	5/3

消火栓関係

口径	消火栓 (基)	消火栓 ボックス(箇所)
700	1	1
合計	1	1

鉄蓋受枠部50kg/箇所
ボックス部92kg/箇所

	管類	消火栓関係	鋼製ケーシング* (発進立坑部)	鋼製ケーシング* (到達立坑部)	計(t)	運搬回数
スクラップ処分	1.65	0.05	3.11	1.76	6.6	4
廃プラスチック類		0.092			0.1	1

既設管撤去土工集計表

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	撤去土工1				
舗装版切断(As) t≤15cm	56.00	56	m	56.00				
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	15.40	15	m2	15.40				
掘削積込工	19.05	19	m3	19.05				
残塊処分工(As)	0.77	0.8	m3	0.77				
残塊処分工(土砂)	19.05	19	m3	19.05				
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	15.40	15	m2	15.40				
路盤工(粒調碎石) t=10cm	15.40	15	m2	15.40				
埋戻工(再生碎石)	17.71	18	m3	17.71				

既設管撤去 土工1

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	市道	車道5cm	As5cm	粒調碎石10cm

既設管

管種	撤去延長
鑄鉄管φ75	28.0

平均土被り	掘削幅	既設舗装厚	管外径	管断面積	掘削深
1.2	0.55	0.05	0.093	0.007	1.3

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	0.05			28.0×2	56.00
舗装版取壊し積込工 $t \leq 10\text{cm}$	0.05	0.55		$\times 28.0$	15.40
掘削積込工 (管断面控除)	1.25	0.55	\times	1.25×28.0	19.05
		— 0.007		$\times 28.0$	
残塊処分工(As)		15.40	\times	0.05	0.77
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			19.05
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.55	\times	28.0	15.40
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.55	\times	28.0	15.40
埋戻工(再生碎石)	1.15	0.55	\times	1.15×28.0	17.71

舗装復旧関係

市道車道As2層(t=10cm)

施工面積	採用面積	仮復旧面積
190.9	191	57.9

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10	21.4+60.3	81.7	82	m
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05~0.10	190.9	190.9	191	m ²
掘削積込工	0.05	57.9 × 0.05	2.9	3	m ³
残塊処分工(As)		133.0 × 0.10 + 57.9 × 0.05	16.195	16	m ³
残塊処分工(土砂)		掘削工の合計	2.9	3	m ³
不陸整正工(粒調碎石)	0.03	190.9	190.9	191	m ²
舗装工(粗粒度(再)(20)、PK-3)	0.05	190.9	190.9	191	m ²
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-4)	0.05	190.9	190.9	191	m ²

市道車道As2層(t=10cm)

実掘部(切削オーバーレイ施工箇所)

施工面積	採用面積	仮復旧面積
257.1	257	257.1

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	257.1	257.1	257	m ²
掘削積込工	0.05	257.1 × 0.05	12.9	13	m ³
残塊処分工(As)		257.1 × 0.05	12.9	13	m ³
残塊処分工(土砂)		掘削工の合計	12.9	13	m ³
不陸整正工(補充材無)		257.1	257.1	257	m ²
舗装工(粗粒度(再)(20)、PK-3)	0.05	257.1	257.1	257	m ²
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-4)	0.05	257.1	257.1	257	m ²

市道車道As2層(t=10cm)

切削オーバーレイ(1層)

施工面積	採用面積
838.3	838

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	71.2+249.2	320.4	320	m
廃材処分工(As)		838.3 × 0.05	41.915	42	m ³
切削オーバーレイ工(密粒度(再)(13)、PK-4)	0.05	838.3	838.3	838	m ²

市道車道As1層(t=5cm)

施工面積	採用面積
2398.0	2400

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	單位
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	0.05	$45.6+237.9+72.1+4.6+46.2+184.5+20.9+11.2+48.8+70.8+28.6$	771.2	770	m
舗装版取壊し積込工 $t \leq 10\text{cm}$	0.05	2398.0	2398.0	2400	m ²
残塊処分工(As)		2398.0×0.05	119.9	120	m ³
不陸整正工(粒調碎石)	0.03	2398.0	2398.0	2400	m ²
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-3)	0.05	2398.0	2398.0	2400	m ²
縁石撤去・復旧工		5.0	5.0	5	m

市道歩道As1層(t=5cm)

施工面積	採用面積
45.2	45

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	單位
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	0.05	5.2	5.2	5	m
舗装版取壊し積込工 $t \leq 10\text{cm}$	0.05	45.2	45.2	45	m ²
残塊処分工(As)		45.2×0.05	2.3	2	m ³
不陸整正工(粒調碎石)	0.03	45.2	45.2	45	m ²
舗装工(細粒度(再)(13)、PK-3)	0.05	45.2	45.2	45	m ²

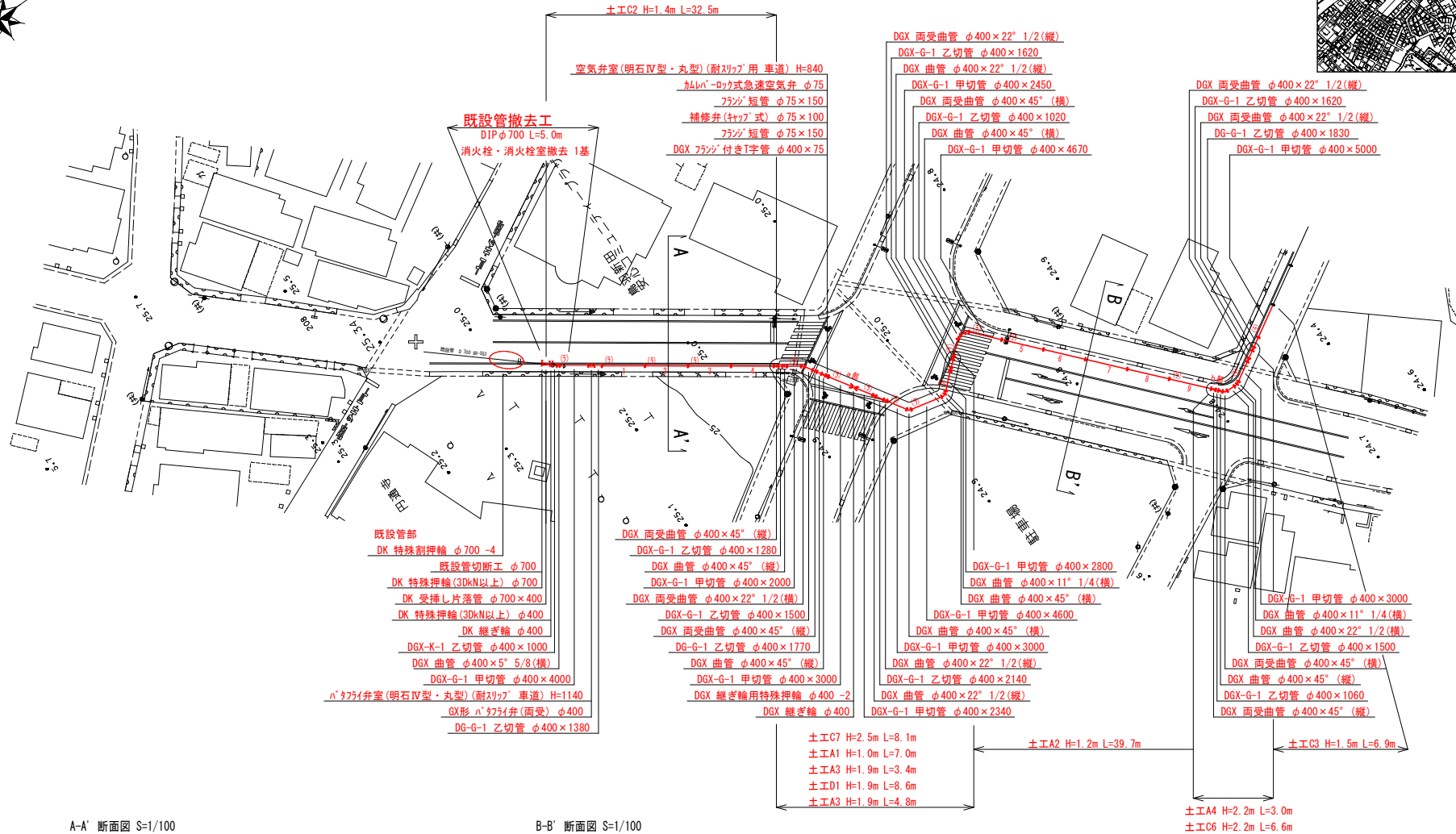
区画線関係

一般舗装部

工種	細別	計算式	数量	採用 数量	単位
実線・破線 W=15cm	外側線	33.8+174.0	207.80	410	m
	中央線	35.1+35.7+30.6+68.4+12.0	181.80		
	停止線	3.0+10.4+3.7+4.7	21.80		
	破線	55.0+35.0	90.00	90	m
実線・破線 W=30cm	交差線	2.0+0.8+2.0+2.8+2.8	10.40	49	m
	停止線	15.0+12.6+4.7+6.3	38.60		
実線・破線 W=45cm	停止線	2.7+2.3+2.8+2.8	10.60	99	m
	横断歩道	10.8+22.6+8.0+15.3+15.3+16.0	88.00		
文字・記号 W=15cm換算	止まれ	23.9+23.9	47.80	95	m
	ダイヤモンド	19.8+19.8	39.60		
	自転車マーク	1.5+1.5+1.5+1.5+1.5	7.50		

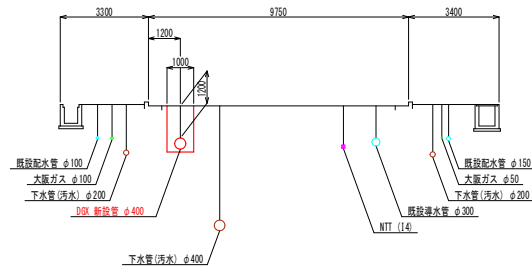
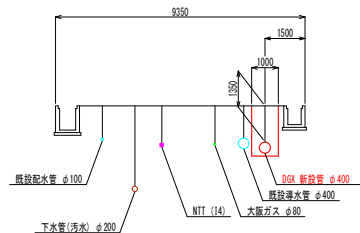
連絡管布設平面図(その1) S=1/300

連絡管布設工計 L=1153.1m



A-A' 断面図 S=1/100

B-B' 断面図 S=1/100

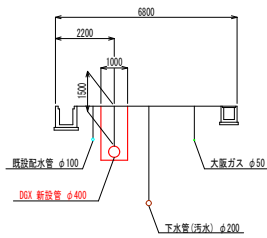
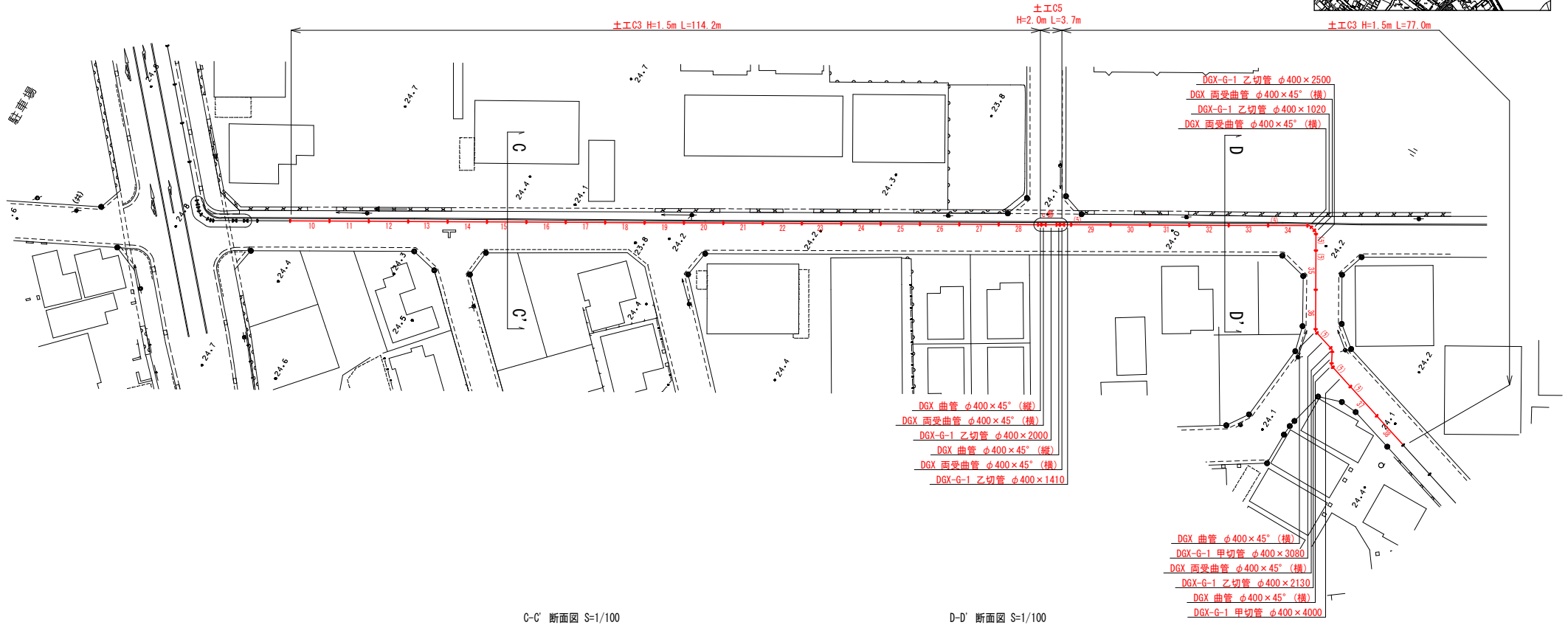


※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

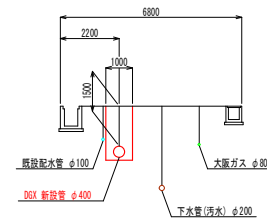
図番	1/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	連絡管布設平面図(その1)・位置図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者	製図者		

連絡管布設平面図(その2) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000



D-D' 断面図 S=1/100



※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

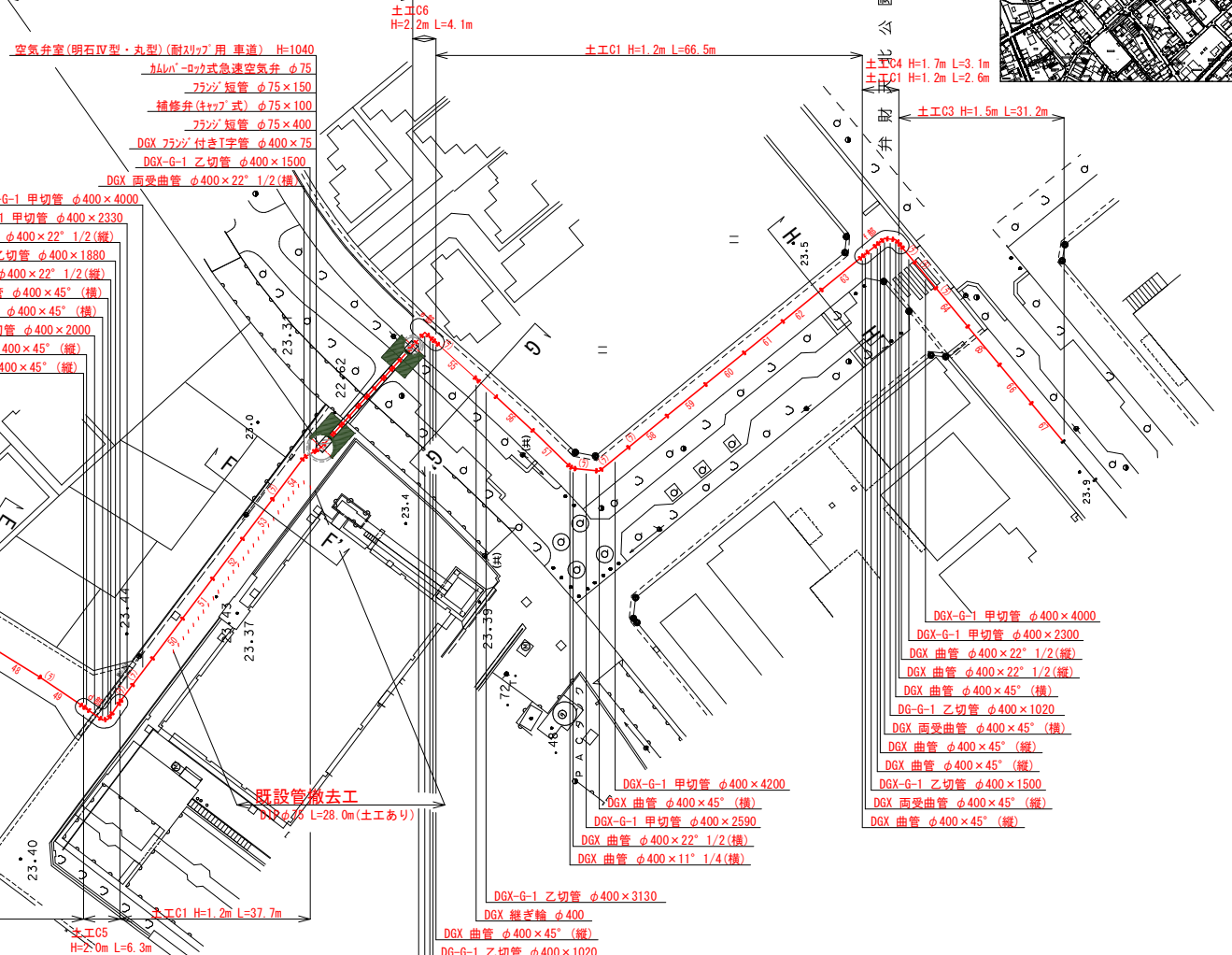
図番	2/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	連絡管布設平面図(その2)・位置図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

連絡管布設平面図(その3) S=1/300

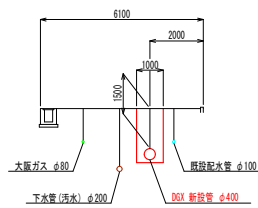
位置図 S = 1/ 5000



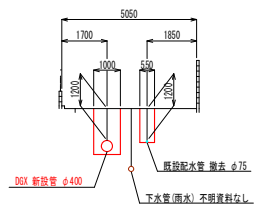
推進工一般図参照



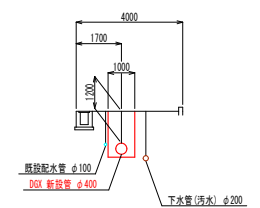
E-E' 断面図 S=1/100



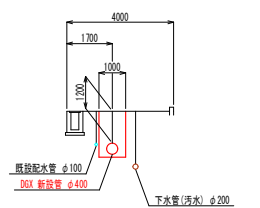
F-F' 断面図 S=1/100



G-G' 断面図 S=1/100



H-H' 断面図 S=1/100

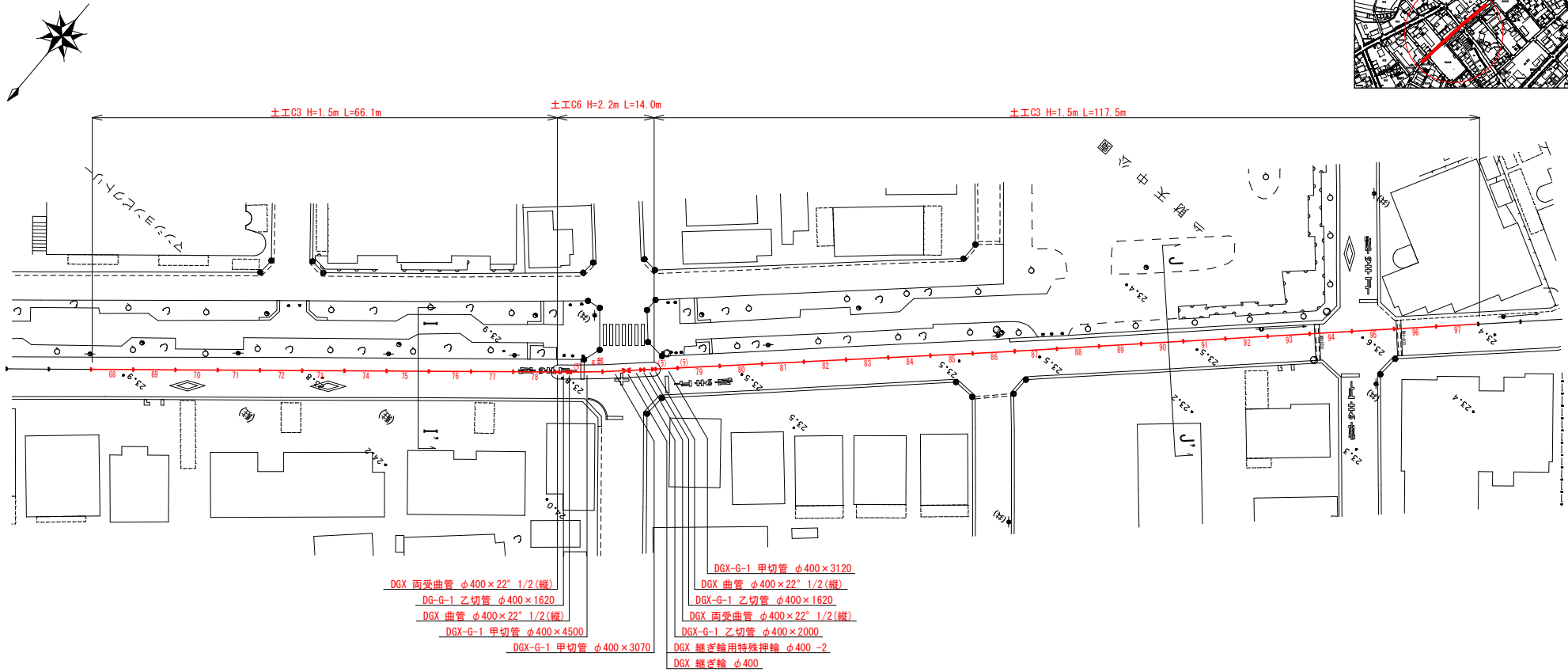


※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

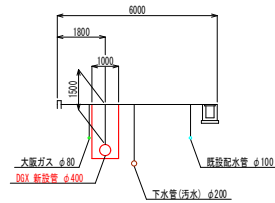
図番	3/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	連絡管布設平面図(その3)・位置図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

連絡管布設平面図(その4) S=1/300

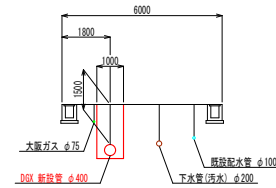
位置図 S = 1/ 5000



I-I' 断面図 S=1/100



J-J' 断面図 S=1/100

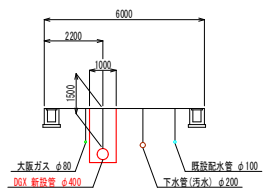
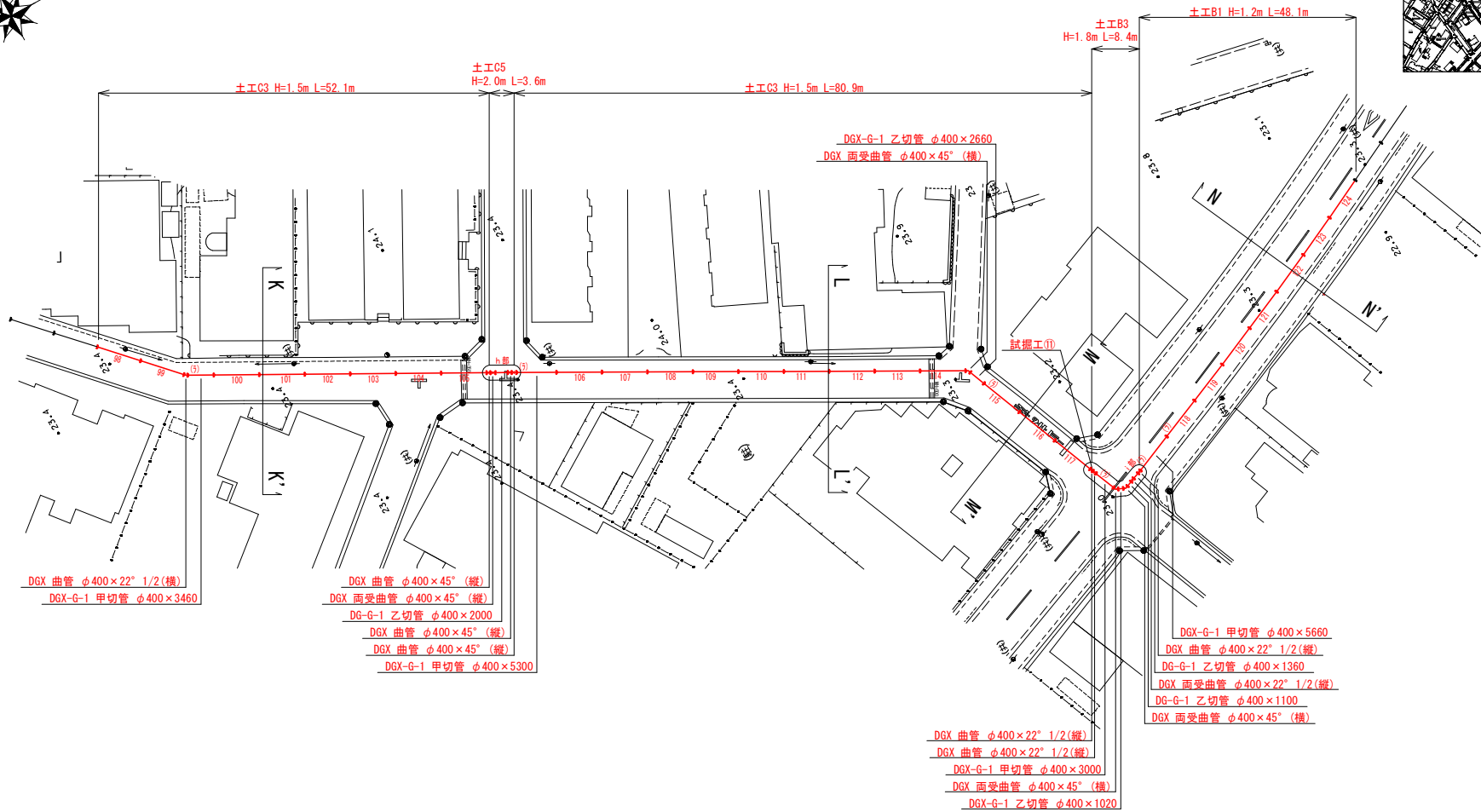
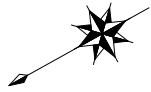
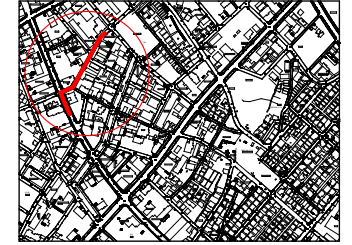


※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

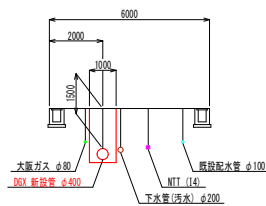
図番	4/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	連絡管布設平面図(その4)・位置図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

連絡管布設平面図(その5) S=1/300

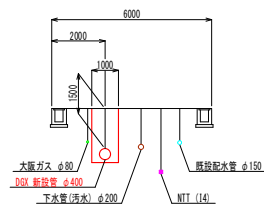
位置図 S = 1/ 5000



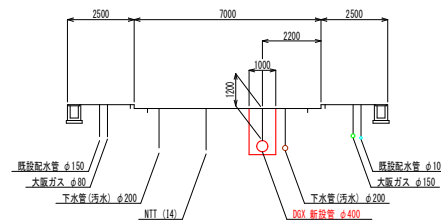
L-L' 断面図 S=1/100



M-M' 断面図 S=1/100



N-N' 断面図 S=1/100

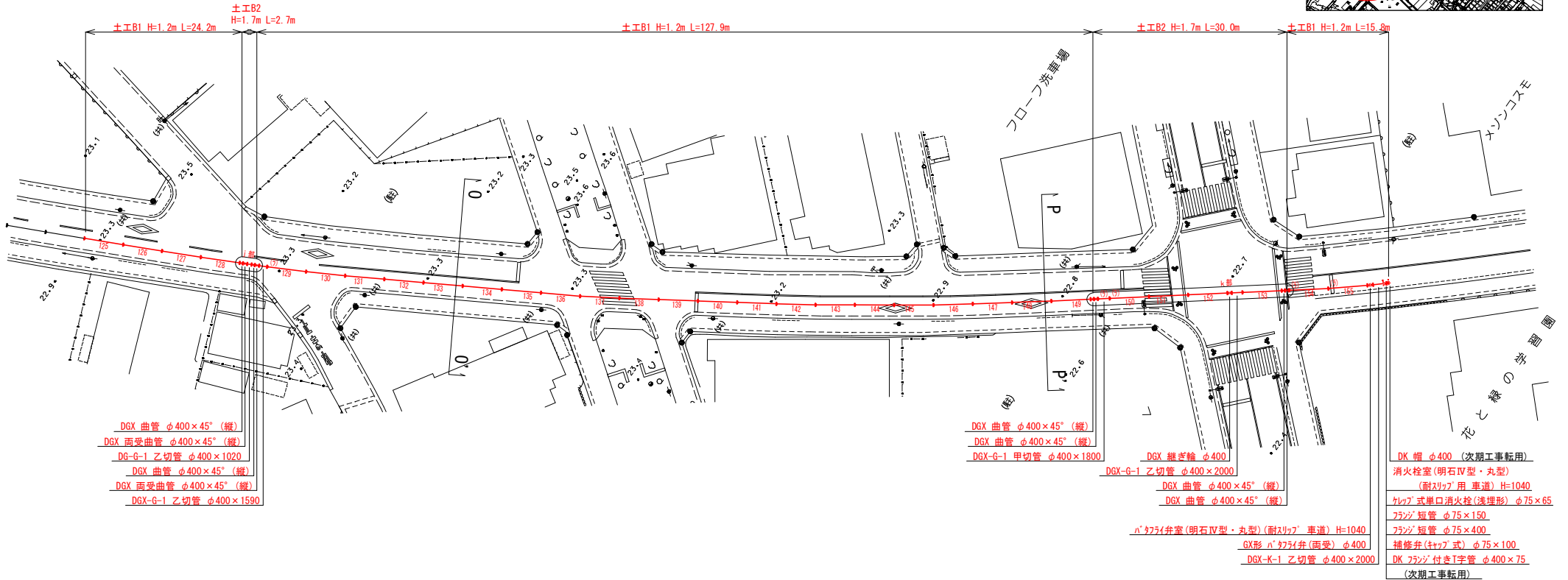
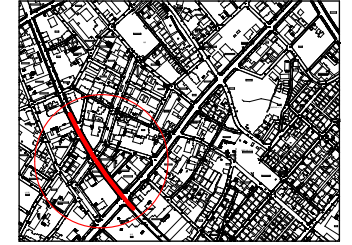


※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

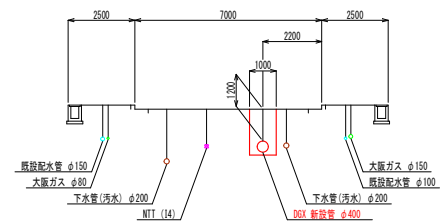
図番	5/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	連絡管布設平面図(その5)・位置図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者	製図者		

連絡管布設平面図(その6) S=1/300

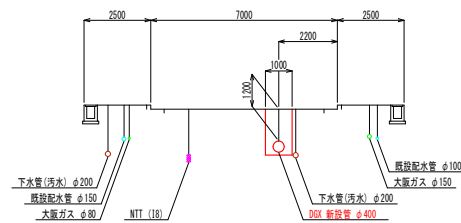
位置図 S = 1/ 5000



0-0' 断面図 S=1/100



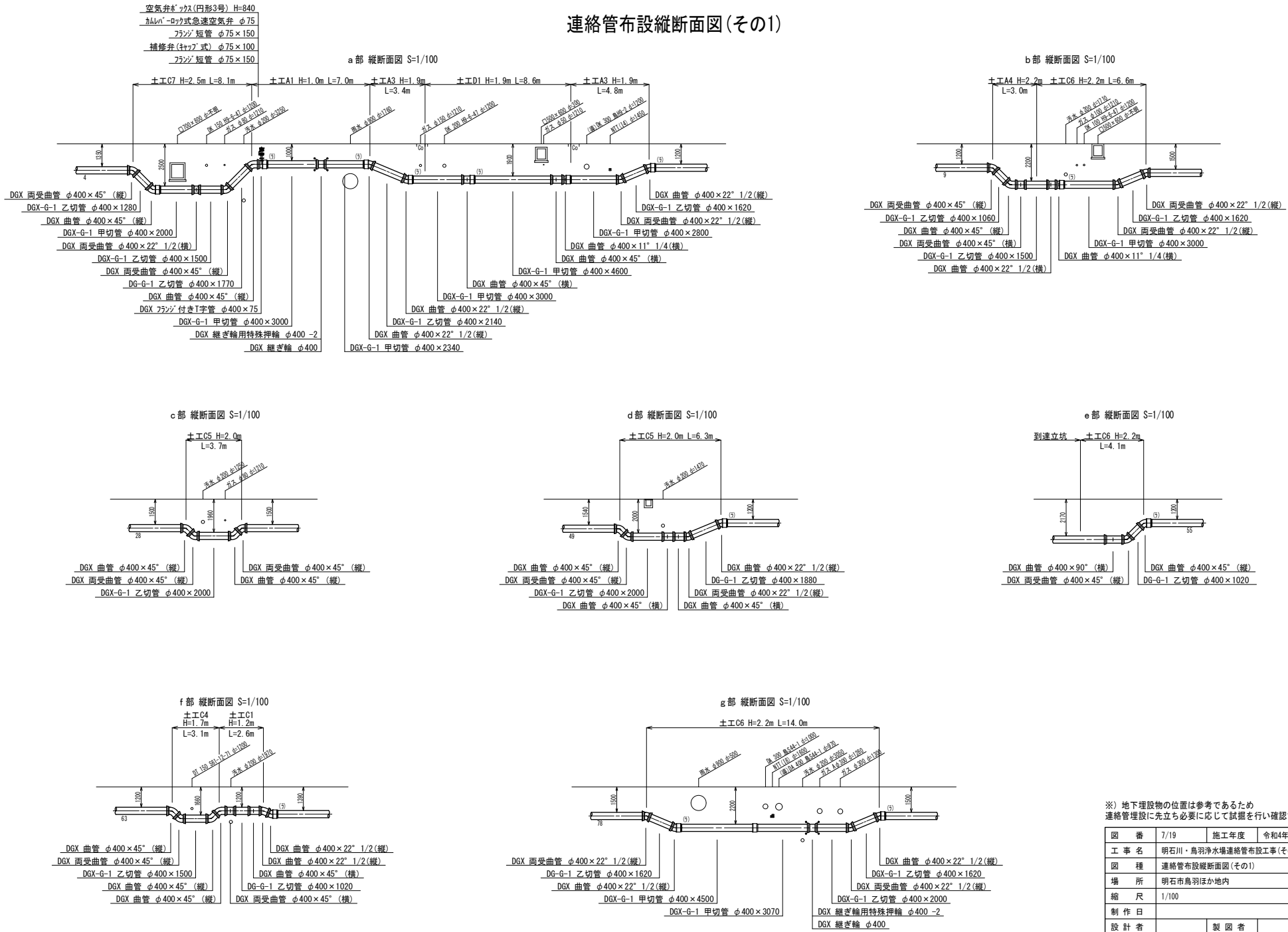
P-P' 断面図 S=1/100



※) 地下埋設物の位置は参考であるため
連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

図番	6/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	連絡管布設平面図(その6)・位置図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/100, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

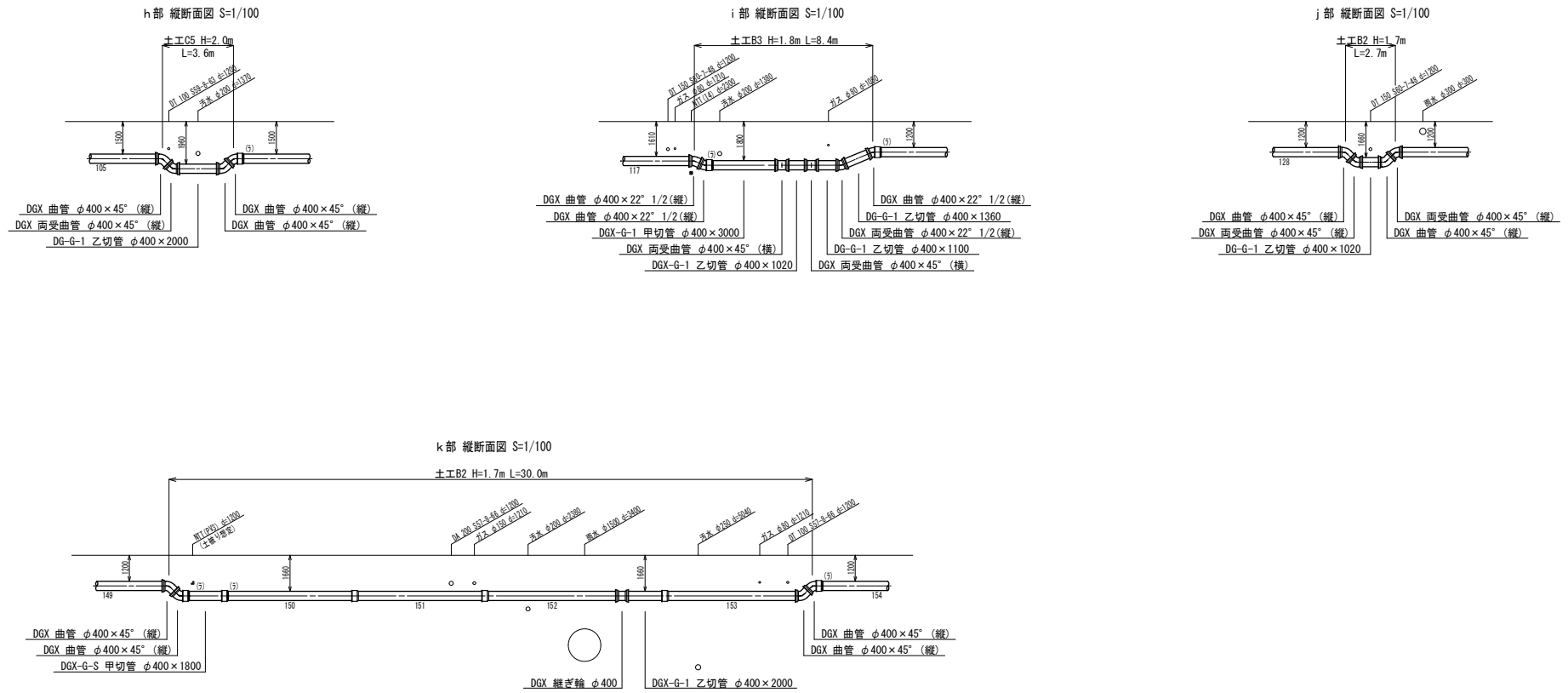
連絡管布設縦断面図(その1)



※) 地下埋設物の位置は参考のため連絡管埋設に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

図番	7/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	連絡管布設縦断面図(その1)		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/100		
制作日			
設計者	製図者		

連絡管布設縦断面図(その2)



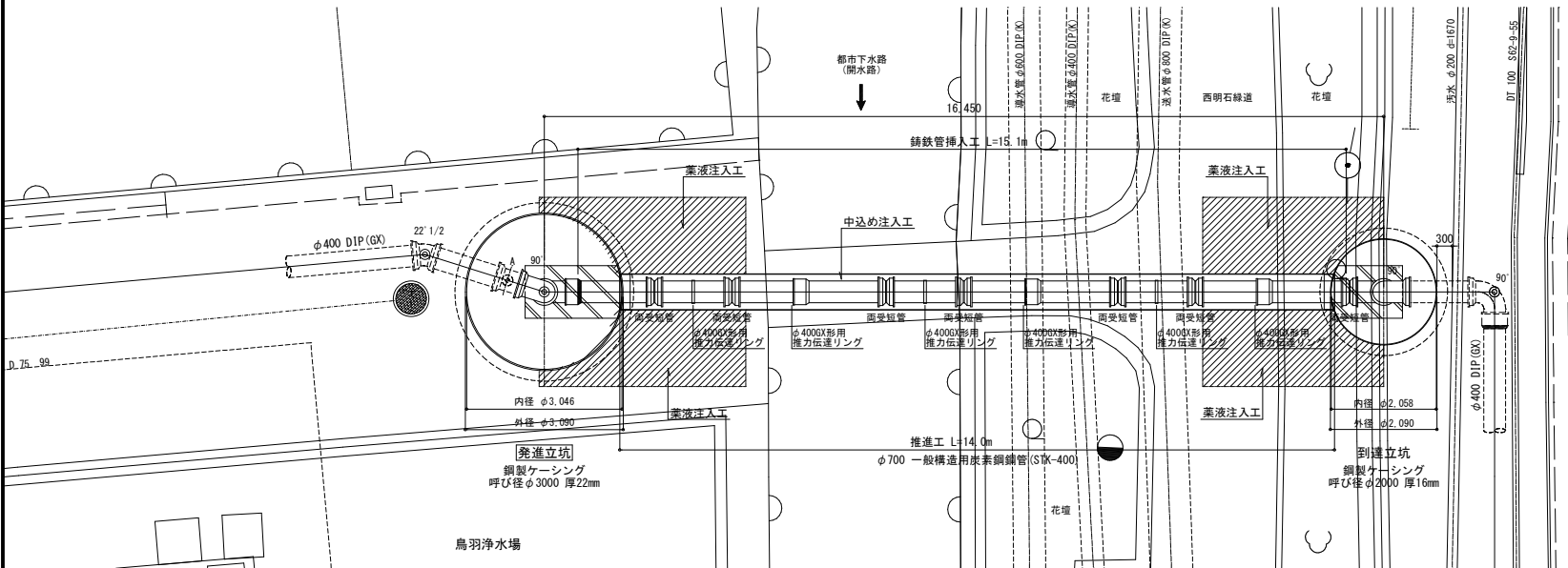
※) 地下埋設物の位置は参考であるため
 連絡管埋設に先立ち必要に応じて試験を行い確認すること。

図番	8/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	連絡管布設縦断面図(その2)		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/100		
制作日			
設計者		製図者	

推進工一般図 (参考図)

S=1/50

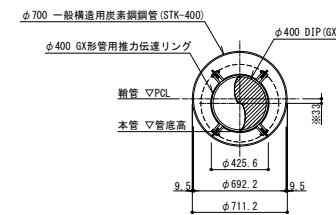
平面図



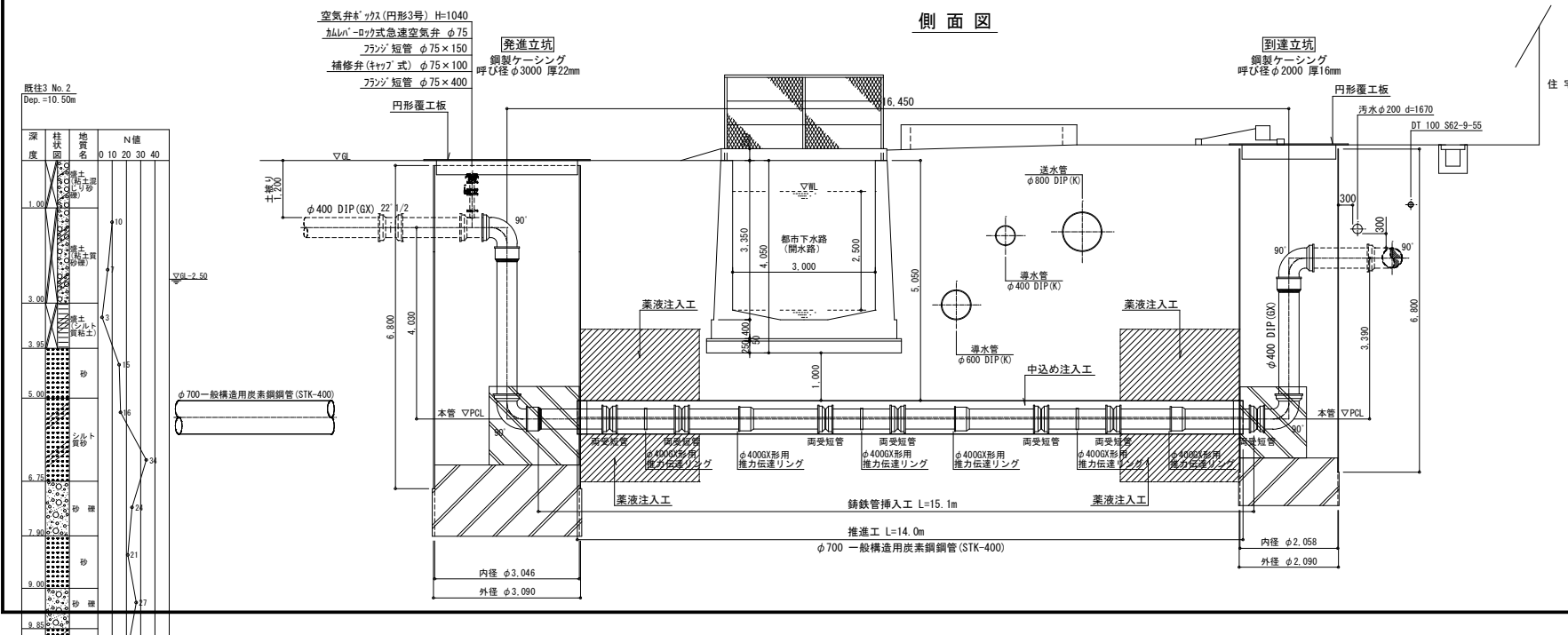
推進管断面図

S=1/20

(推力伝達リング参考図)



側面図



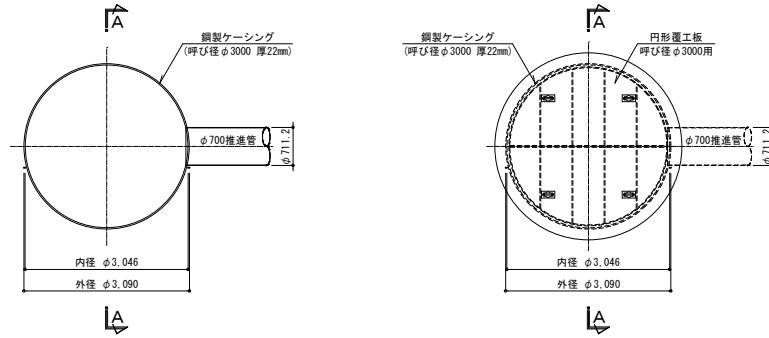
注1) 都市下水道の断面および基礎形状は推定。
注2) 現地試掘の上、汚水管の位置を確認すること。

図番	9/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	推進工一般図 (参考図)		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/20, 1/50		
制作日			
設計者	製図者		

発進立坑構造図 (参考図)

S=1/50

平面図

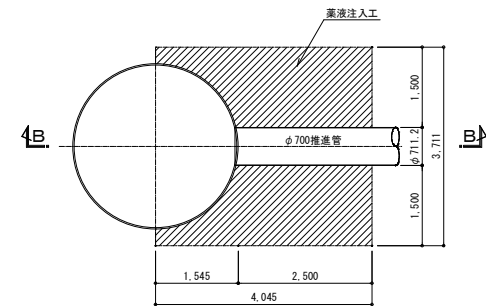


A-A断面図

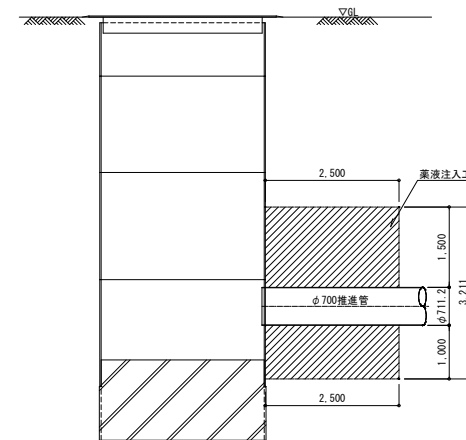
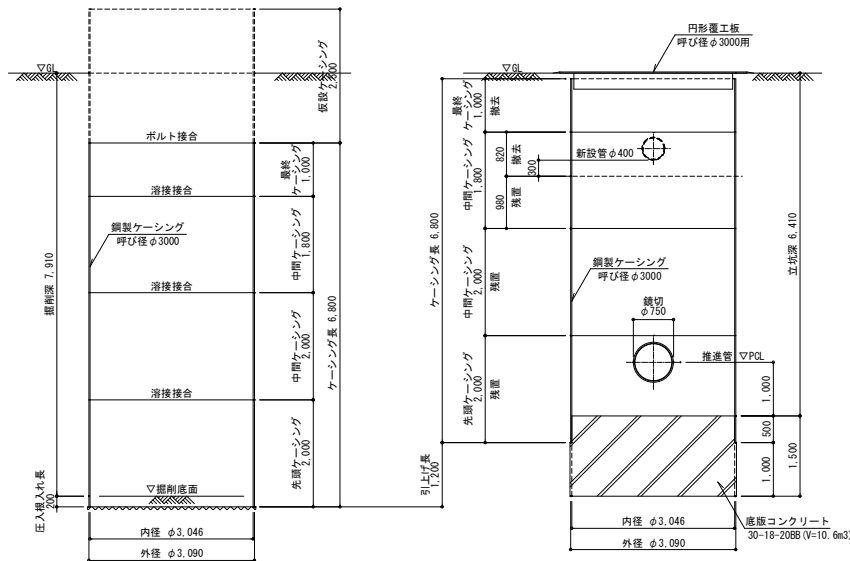
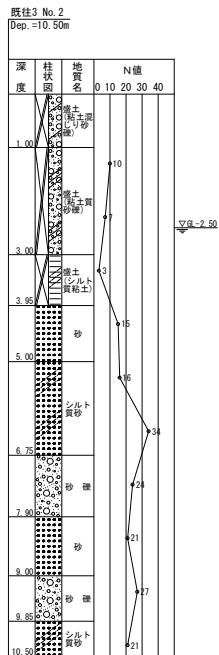
圧入掘削完了時

立坑構造完了時

薬液注入工平面図



B-B断面図

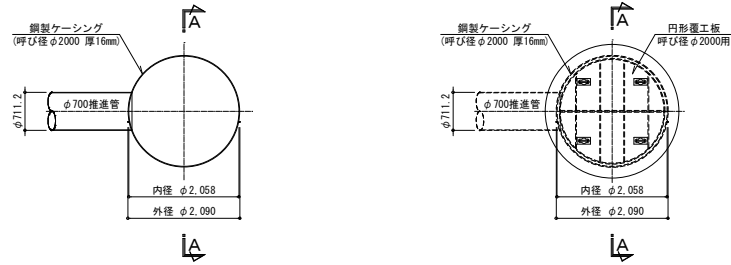


図番	10/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	発進立坑構造図 (参考図)		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/50		
制作日			
設計者		製図者	

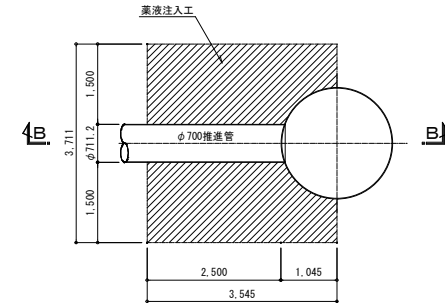
到達立坑構造図 (参考図)

S-1/50

平面図



薬液注入工平面図

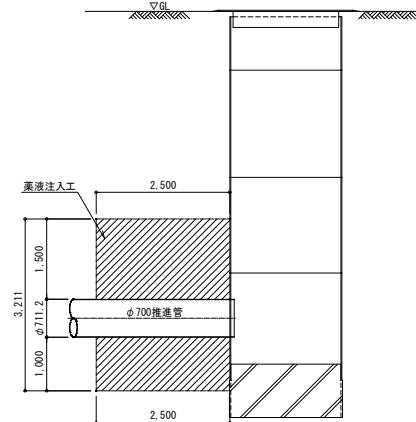
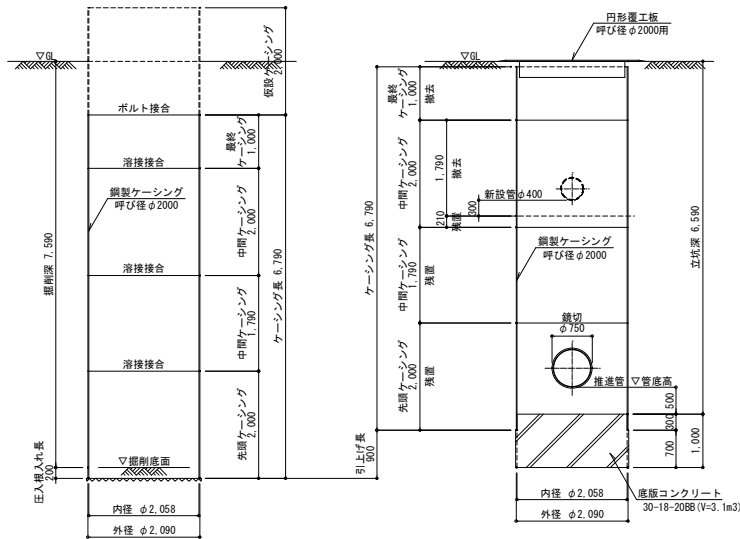
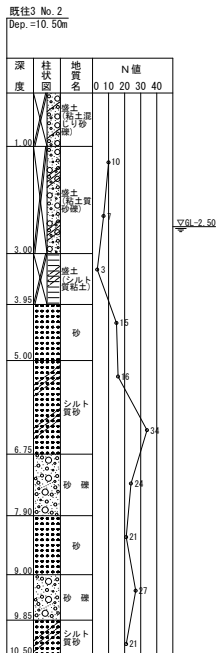


A-A断面図

B-B断面図

圧入掘削完了時

立坑構造完了時



図番	11/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	到達立坑構造図 (参考図)		
場所	明石市鳥羽地内~大道町1丁目地内		
縮尺	1/50		
制作日			
設計者		製図者	

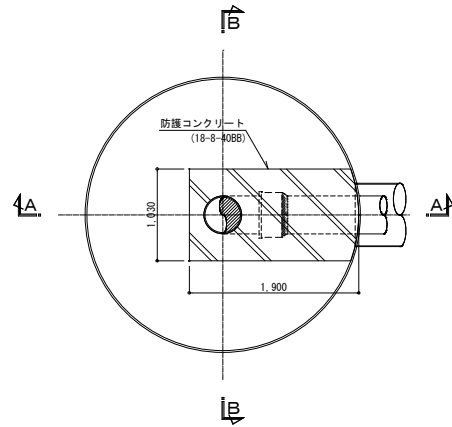
防護コンクリート詳細図

S=1/30

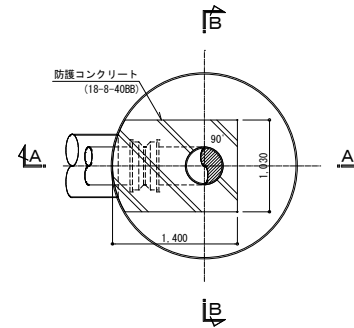
発進立坑内立上部

到達立坑内立上部

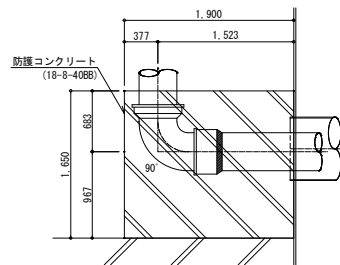
平面図



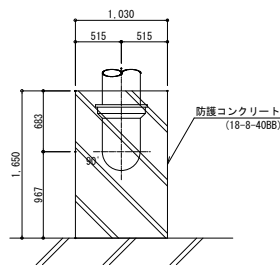
平面図



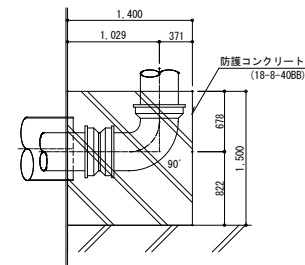
A-A断面図



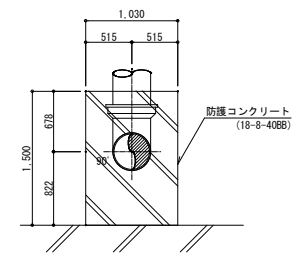
B-B断面図



A-A断面図



B-B断面図

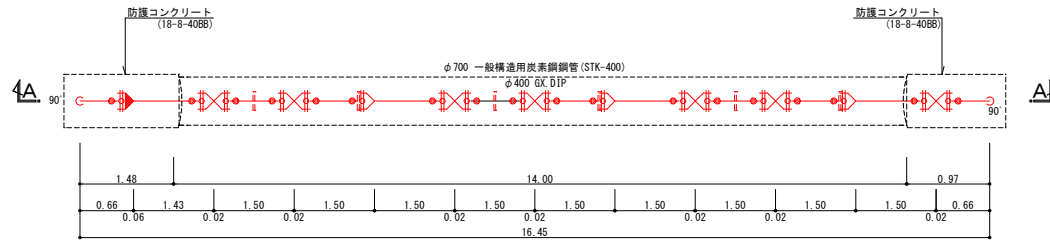


図番	12/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	防護コンクリート詳細図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/30		
制作日			
設計者		製図者	

異形管詳細図

S=NONE SCALE

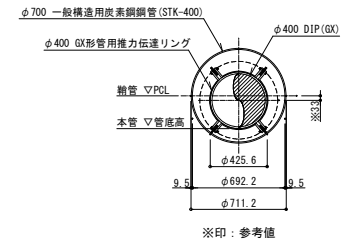
平面図



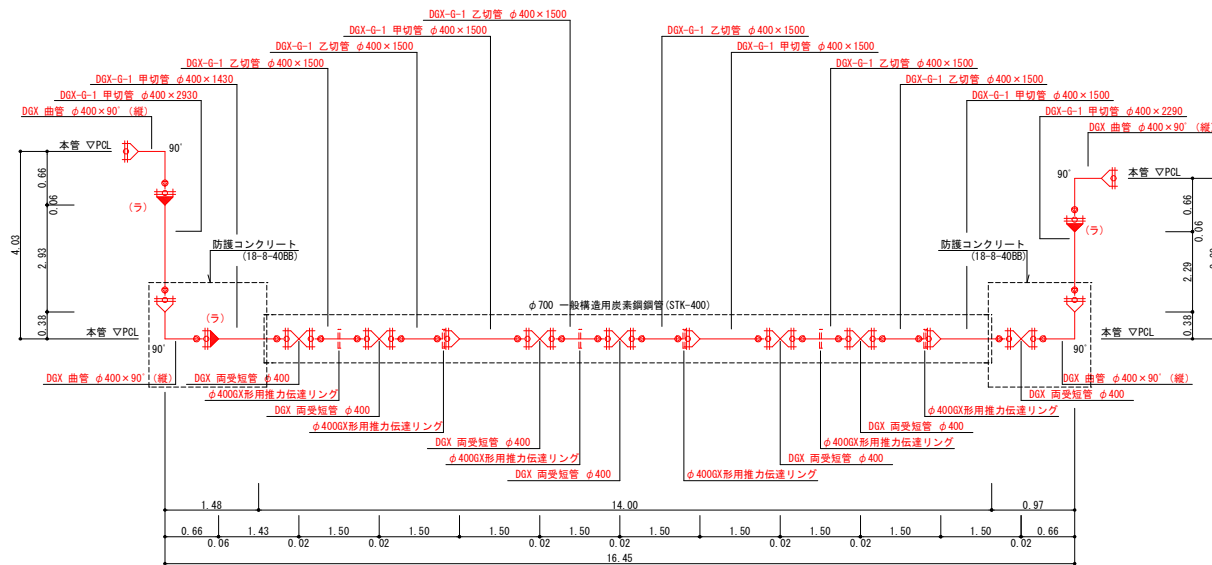
推進管断面図

S=1/20

(推力伝達リング参考図)



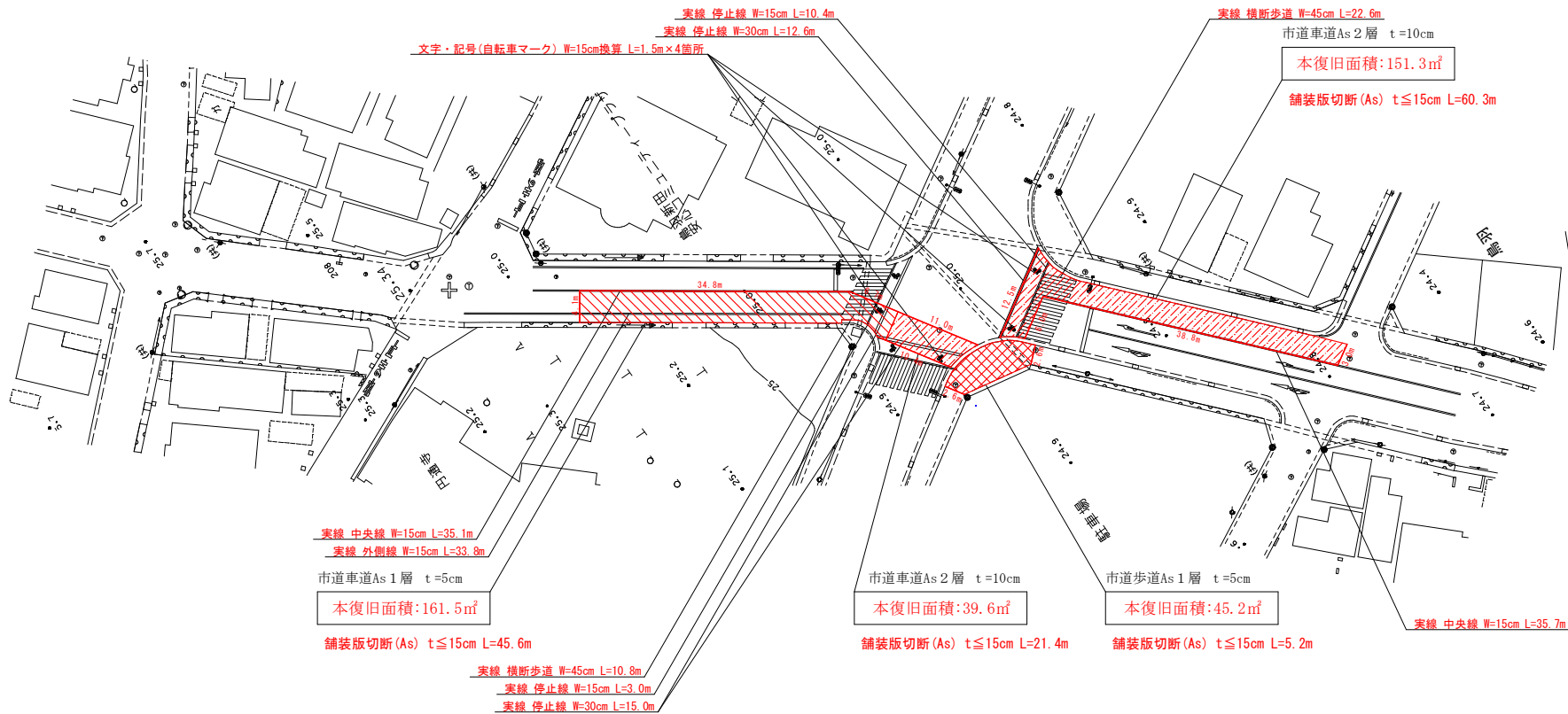
A-A断面図



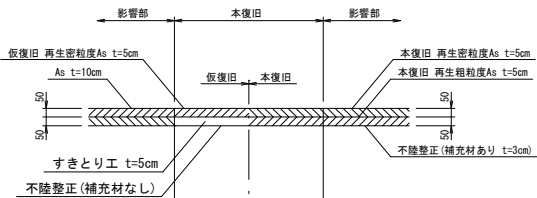
図番	13/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	異形管詳細図		
場所	明石市鳥羽地内～大道町1丁目地内		
縮尺	1/20, NONE SCALE		
制作日			
設計者		製図者	

舗装復旧平面図(その1) S=1/300

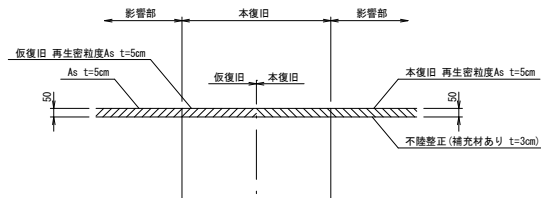
位置図 S = 1/ 5000



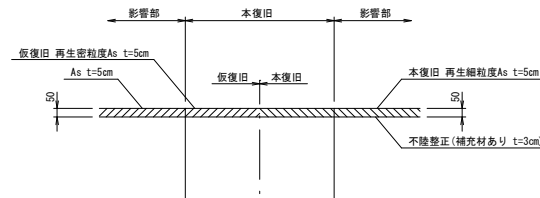
市道車道部 (As t=10cm)



市道車道部 (As t=5cm)



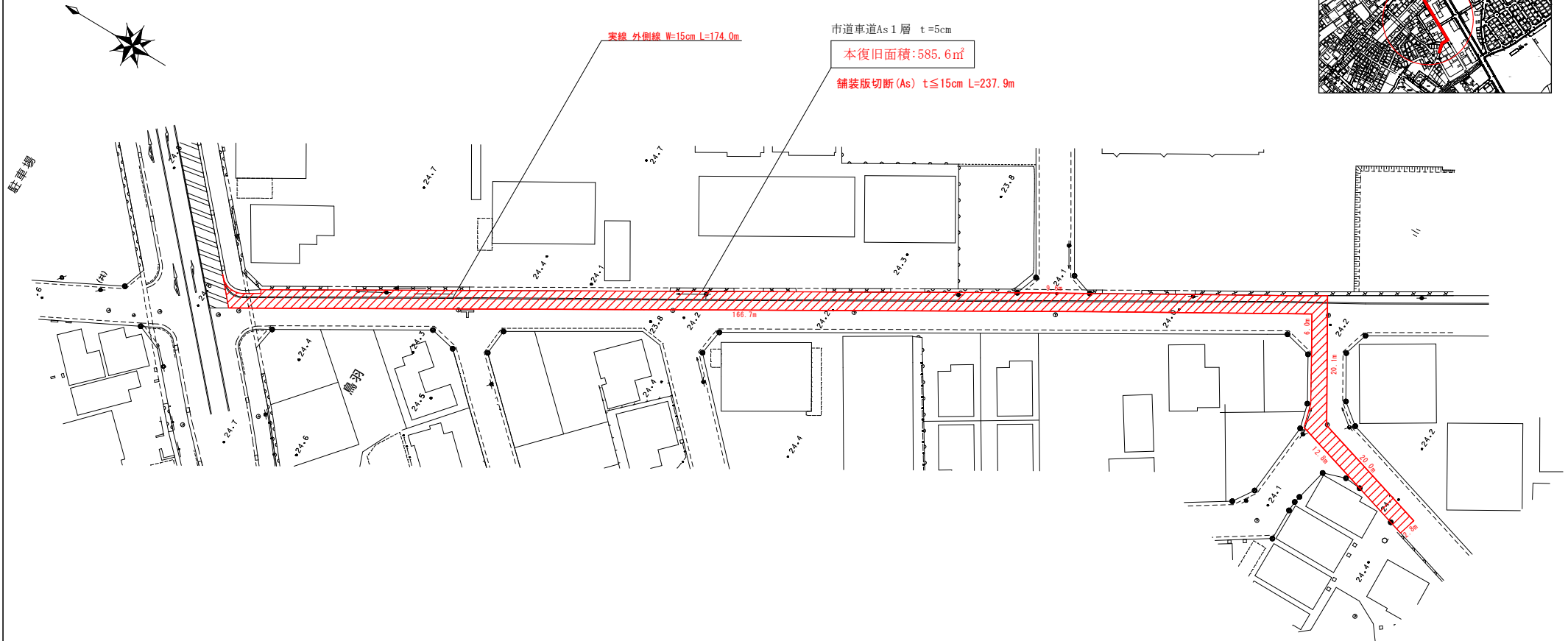
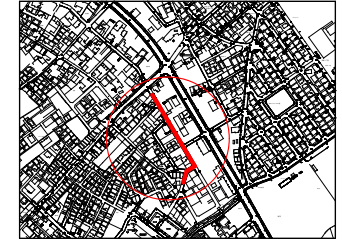
市道歩道部 (As t=5cm)



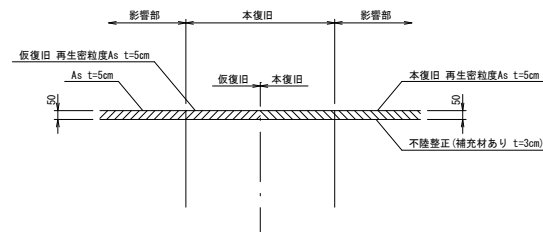
図番	14/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	舗装復旧平面図(その1)・位置図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/15, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者	製図者		

舗装復旧平面図(その2) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000



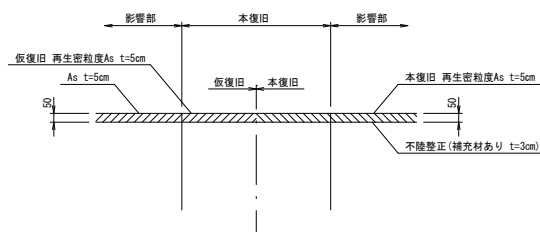
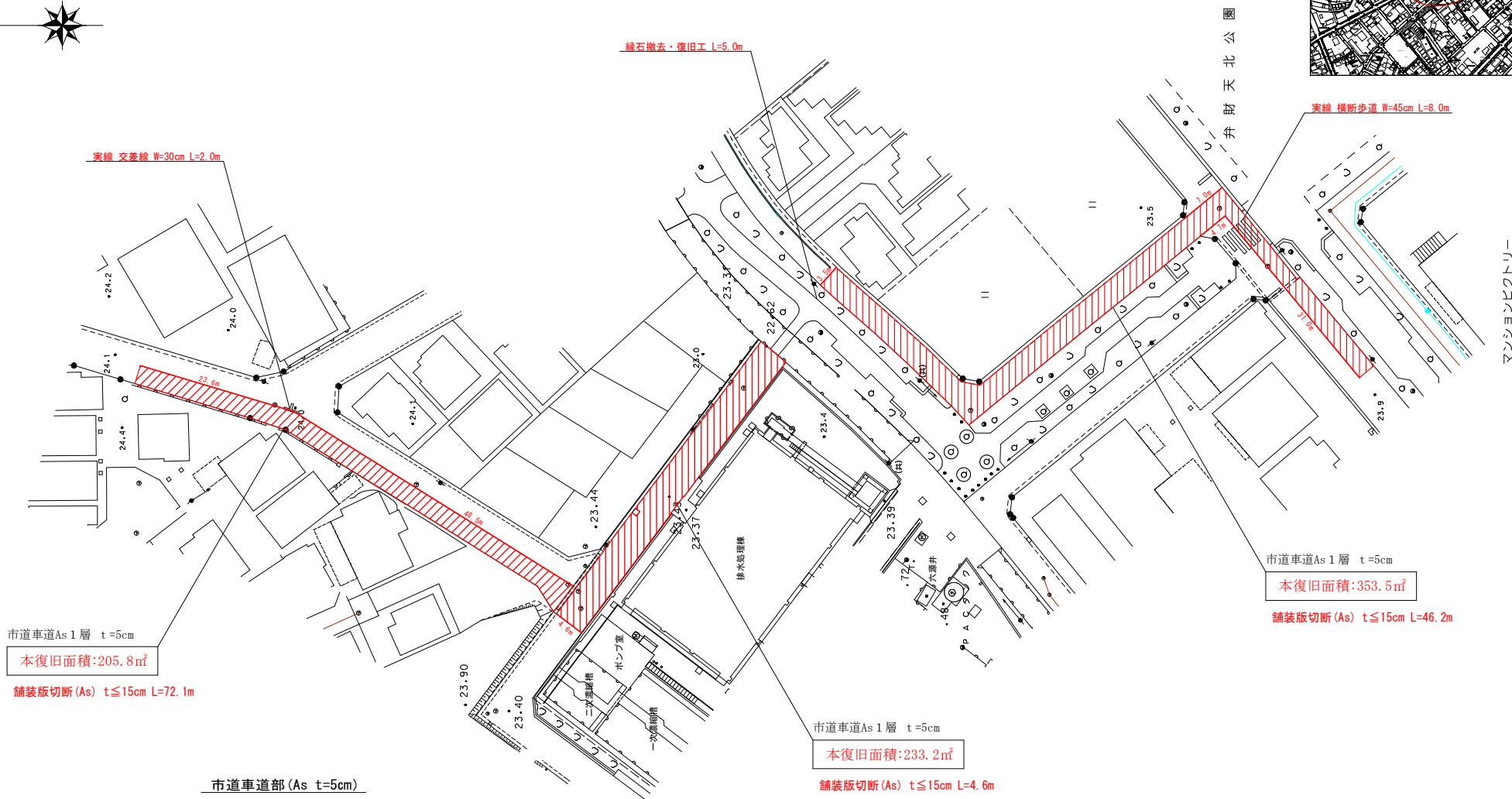
市道車道部 (As t=5cm)



図番	15/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	舗装復旧平面図(その2)・位置図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/15, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

舗装復旧平面図(その3) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000



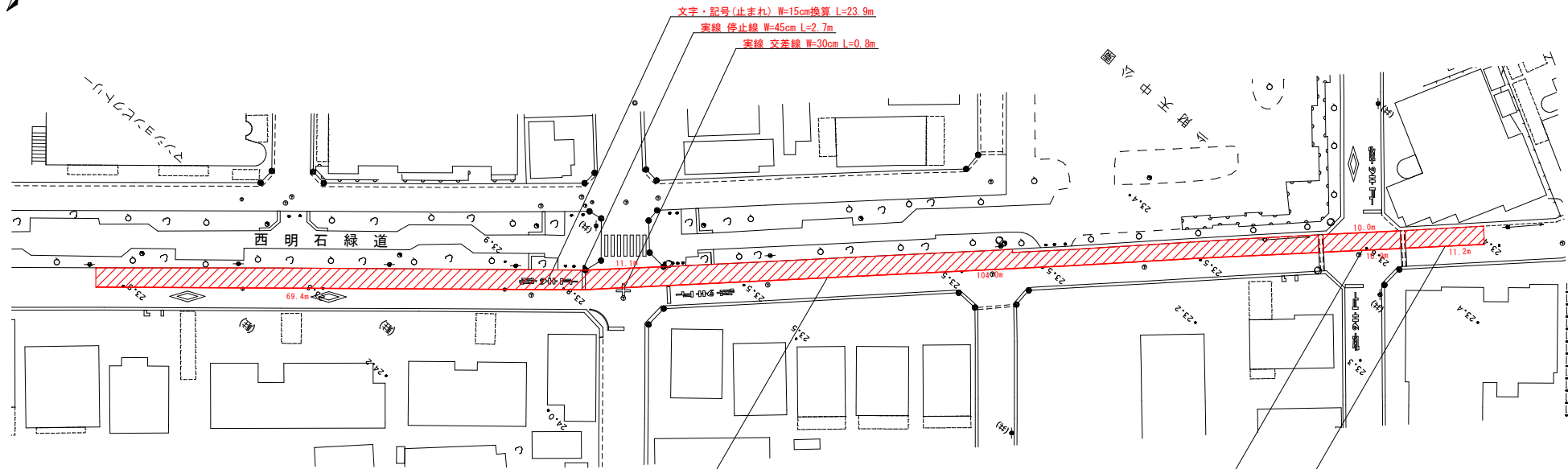
市道車道As 1層 t=5cm
本復旧面積:233.2㎡
 舗装版切断(As) t≤15cm L=4.6m

市道車道As 1層 t=5cm
本復旧面積:205.8㎡
 舗装版切断(As) t≤15cm L=72.1m

図番	16/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	舗装復旧平面図(その3)・位置図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/15, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

舗装復旧平面図(その4) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000

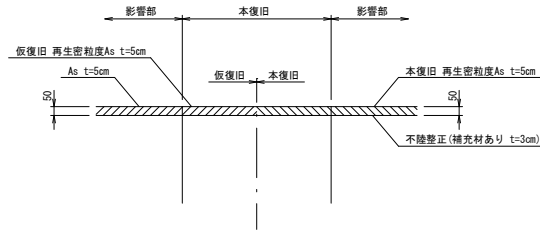


市道車道As 1層 t=5cm
本復旧面積:461.4㎡
 舗装版切断(As) t≤15cm L=184.5m

市道車道As 1層 t=5cm
本復旧面積:27.3㎡
 舗装版切断(As) t≤15cm L=20.9m

市道車道As 1層 t=5cm
本復旧面積:28.4㎡
 舗装版切断(As) t≤15cm L=11.2m

市道車道部 (As t=5cm)

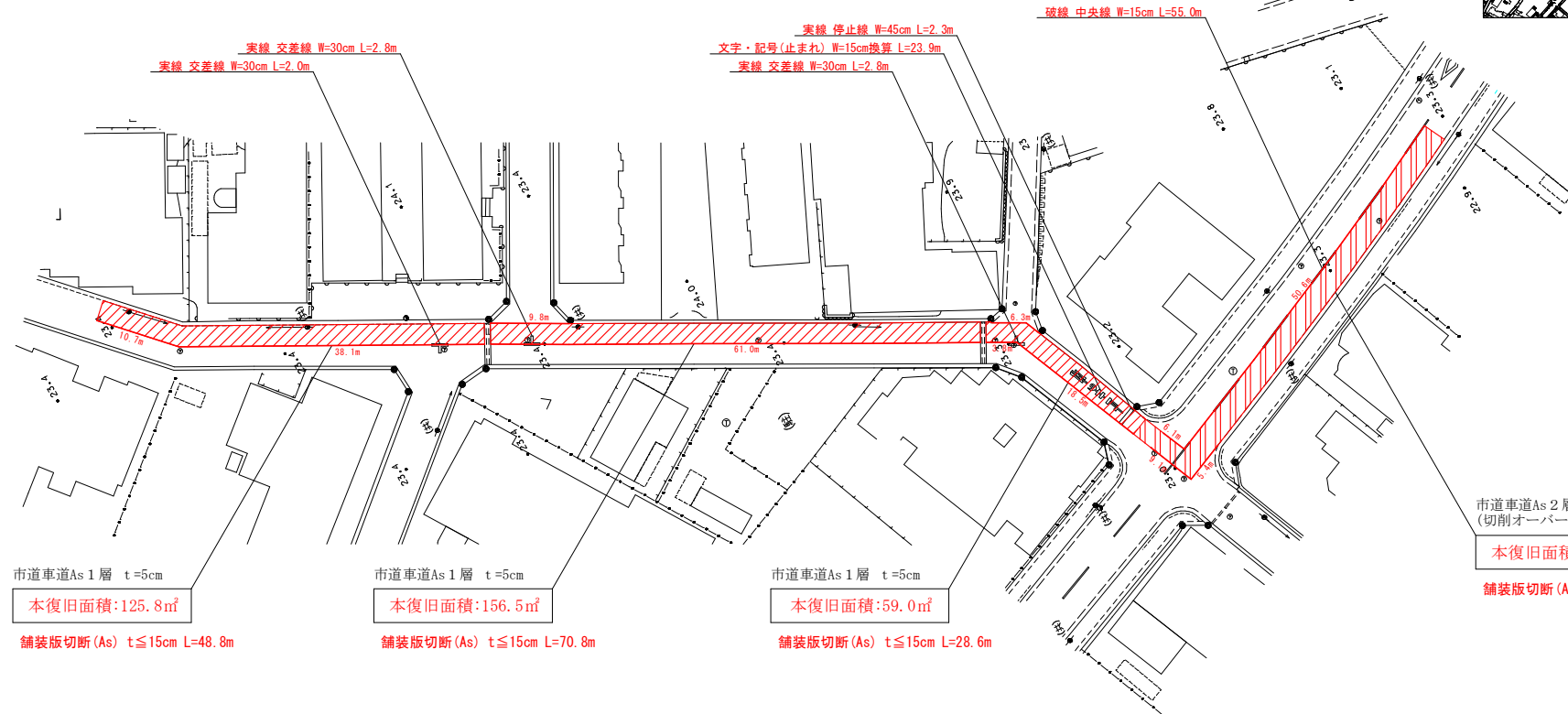
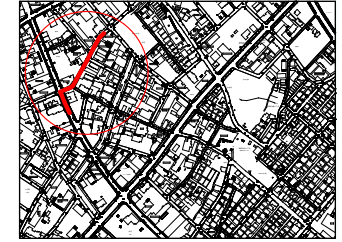


※) 地下埋設物の位置は参考であるため
 連絡管理股に先立ち必要に応じて試掘を行い確認すること。

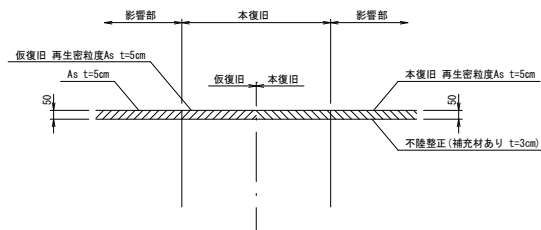
図番	17/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	舗装復旧平面図(その4)・位置図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/15, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

舗装復旧平面図(その5) S=1/300

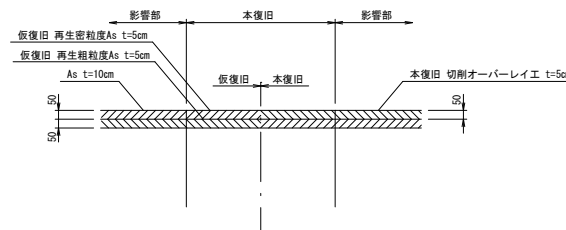
位置図 S = 1/ 5000



市道車道部 (As t=5cm)



市道車道部 (As t=10cm)

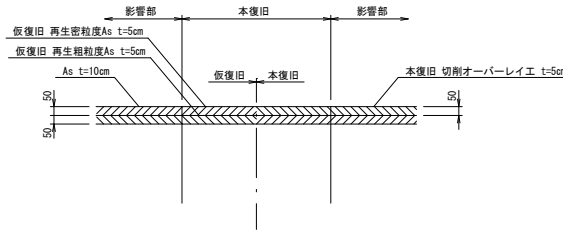
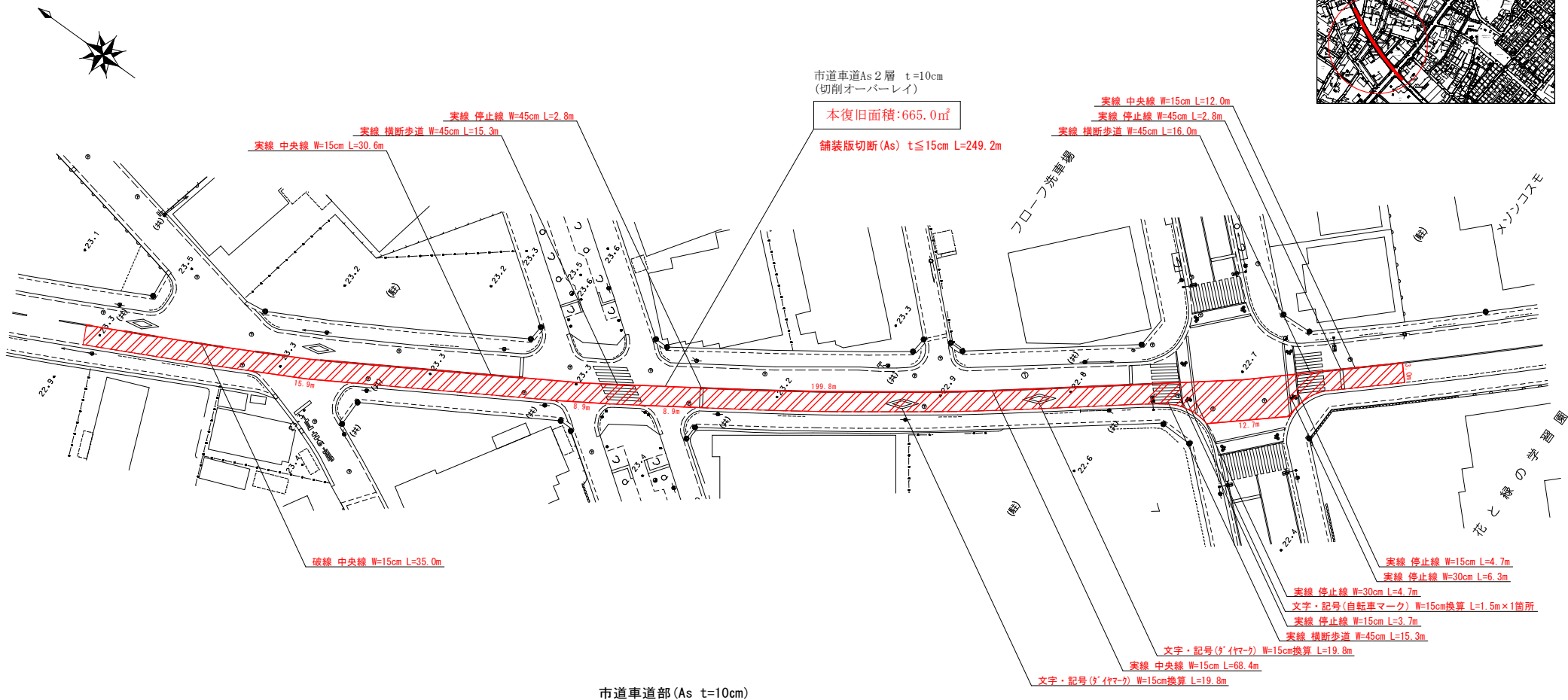


市道車道As 2層 t=10cm
(切削オーバーレイ)
本復旧面積:173.3㎡
舗装版切断 (As) t≤15cm L=71.2m

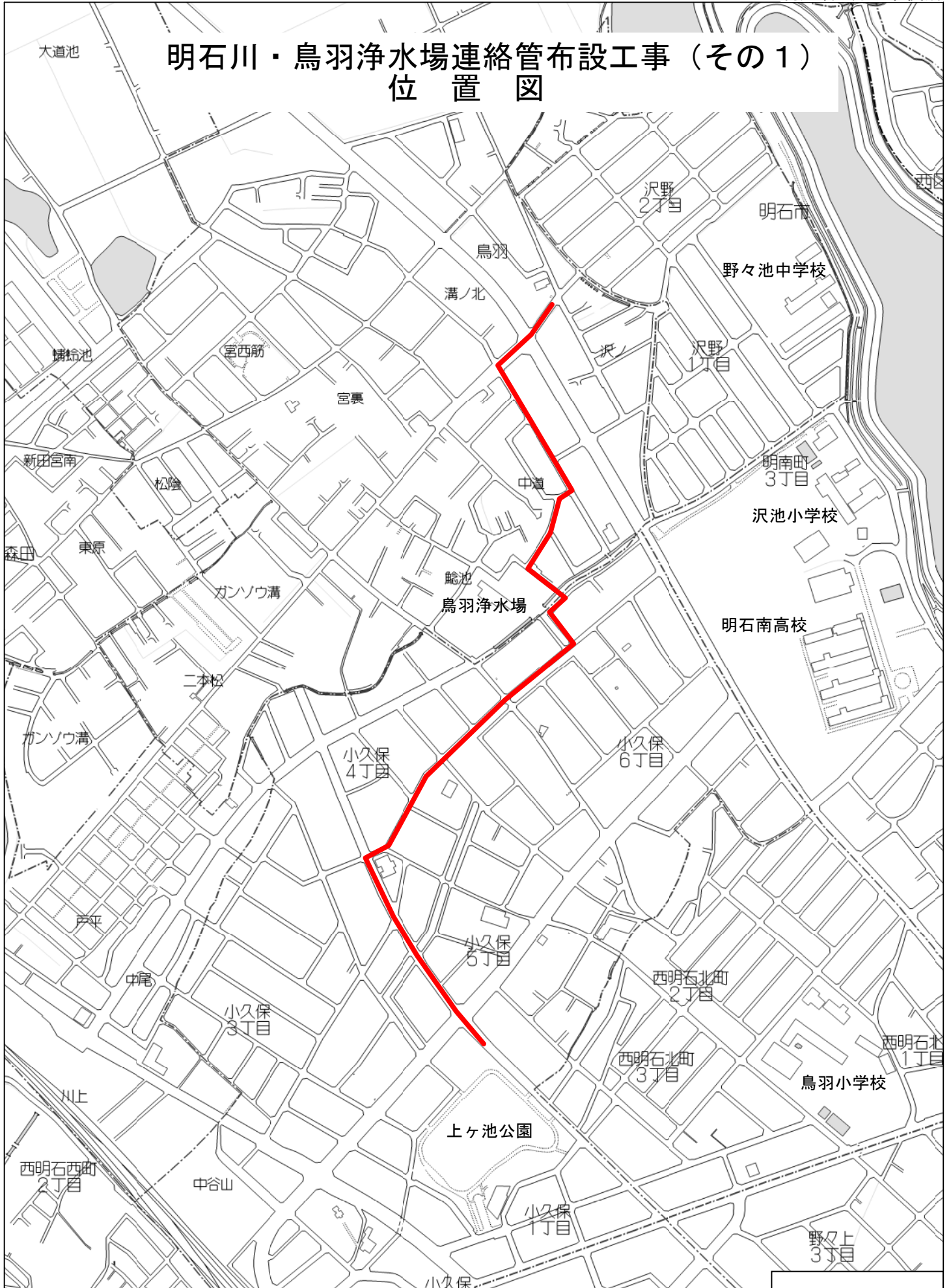
図番	18/19	施工年度	令和4年度
工事名	明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事(その1)		
図種	舗装復旧平面図(その5)・位置図		
場所	明石市鳥羽ほか地内		
縮尺	1/15, 1/300, 1/5000		
制作日			
設計者		製図者	

舗装復旧平面図(その6) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000



明石川・鳥羽浄水場連絡管布設工事（その1） 位置図



明石市鳥羽付近

縮尺 1 / 6,000 | 180m